

# A BRIEF ILLUSTRATED GUIDE TO UNDERSTANDING ISLAM



写真：世界中から百万人以上の人びとがメッカの  
ハラームモスクで合同礼拝をしている

## イスラーム理解の図解付ガイド

## 編集者について

**著者 I.A. イブラーヒーム (I.A.Ibrahim)**

### 日本語翻訳者

ゼバク米智恵 (Zeba Chie Kume)

### 日本語版 校閲者

桐山 優香 (Yuka Kiriyama)

### 英語版 一般編集者

ウィリアム・ダウド・ピーチ (William (Daud) Peachy) 博士

マイケル・アブドル・ハキーム・トーマス (Michael (Abdul-Hakim) Thomas)

トニー・アブ・ハリール・シルベスター (Tony (Abu-Khaliyl) Sylvester)

イドリス・パーマー (Idris Palmer)

ジャマール・ザラボゾ (Jamaal Zaroboro)

アリ・アッティミミ (Ali AlTimimi)

### 英語版 科学編集者

ハロルド・スチュワート・クオフィ (Harold Stewart Kuofi) 教授

F.A.ステート (F.A. State) 教授

マハジョウブ・オー・タハ (Mahjoub O.Taha) 教授

アハマド・アッラーム (Ahmad Allam) 教授

サルマン・スルタン (Salman Sultan) 教授

H.O.シンディ (H.O. Sindi) 助教授

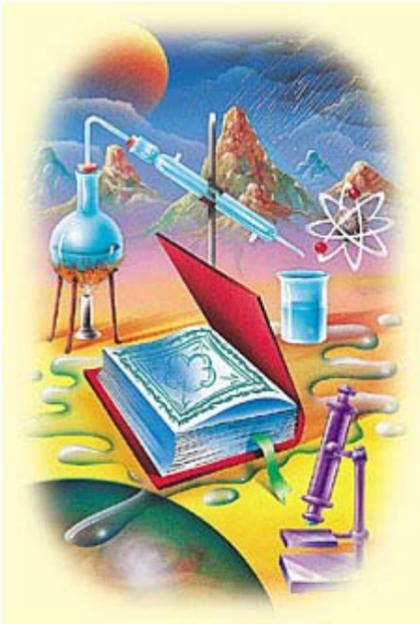
# 目次

序文	- 6 -
<b>第 1 章 イスラームの真実の証し</b>	- 9 -
(1) 聖クルアーンの科学に関する奇跡	- 9 -
A) 人間の胎児の発育に関するクルアーン	- 10 -
B) 山に関するクルアーン	- 17 -
C) 宇宙の起源に関するクルアーン	- 20 -
D) 大脳に関するクルアーン	- 23 -
E) 海と川に関するクルアーン	- 26 -
F) 深海と海中の波に関するクルアーン	- 28 -
G) 雲に関するクルアーン	- 31 -
H) 聖クルアーンの科学に関する奇跡についての科学者のコメント	- 37 -
(2) 聖クルアーンに 類するものを1章でも作ることは 大いなる挑戦である	- 42 -
(3) イスラームの預言者ムハンマド ﷺ の出現に関する聖書の預言	- 44 -
1) モーゼのような預言者	- 45 -
2) イスラエル人の兄弟	- 46 -
3) 神は御言葉をこの預言者に語らせる	- 46 -
(4) 未来の出来事を予言しそれが本当になったクルアーンの節	- 47 -
(5) 預言者ムハンマド ﷺ が行った奇跡	- 48 -
(6) ムハンマド ﷺ の簡素な生活	- 49 -
(7) イスラームの驚異的な広がり	- 53 -
<b>第 2 章 イスラームの恩恵</b>	- 55 -
(1) 永遠の楽園への扉	- 55 -
(2) 地獄からの救い	- 56 -
(3) 真の幸福と心の平安	- 58 -
(4) 過去の罪はすべて赦される	- 59 -

第 3 章	イスラームの一般情報	- 60 -
イスラームとは		- 60 -
イスラームの信仰の基本		- 60 -
1) 神を信じること		- 60 -
2) 天使を信じること		- 63 -
3) 神の啓典を信じること		- 63 -
4) 神の預言者と使徒を信じること		- 63 -
5) 審判の日を信じること		- 64 -
6) アルカダル[宿命]を信じること		- 64 -
クルアーンの外に 聖典はあるだろうか		- 65 -
預言者ムハンマド ﷺ の言葉		- 65 -
イスラームにおける 審判の日とは		- 66 -
人はどのようにして ムスリムになるのか		- 69 -
クルアーンとは		- 70 -
預言者ムハンマド ﷺ とは誰か		- 71 -
イスラームの広がりや科学の発展にどのような影響を及ぼしたのか		- 73 -
ムスリムはイエスをどのように 信じているのか		- 74 -
イスラームはテロリズムをどのように見なしているのか		- 77 -
イスラームにおける人権と正義		- 79 -
イスラームにおける女性の地位		- 81 -
イスラームにおける家族		- 82 -
ムスリムは年長者をどのように扱うか		- 83 -
イスラームの 5 つの柱		- 84 -
1) 信仰告白		- 84 -
2) 礼拝		- 84 -
3) ザカーア喜捨 (困窮者の支援)		- 85 -
4) ラマダーン月の断食		- 86 -
5) メッカ巡礼		- 86 -
参考文献		- 87 -

# 序文

この本はイスラームを理解する簡潔なガイドで、3章で構成されている。



第1章 イスラームの真実の証しは以下に示すように、人びとが疑問をもつ重要な問題に答えている。

- クルアーンは本当に神によって啓示された御言葉なのか。
- ムハンマド ﷺ<sup>1</sup> は本当に神が下した預言者なのか。
- イスラームは本当に神の宗教なのか。

この章では、6つの証しを取り上げている。

- 1) **聖クルアーンの科学に関する奇跡**: このセクションでは、1400年前に啓示された聖クルアーンの中で既に述べられ、近年になって発見された科学的な事実を、図解を用いて論じている。

---

1 アラビア語のﷺの意味は「神が彼の言葉を賞賛し、かれを不完全から守られるように。」である。

(校閲者注: 上記は英語の原文による注釈であるが、一般的にﷺは、彼に平安がありますように」という意味であるとされている。)

- 2) 聖クルアーンに類するものを1章でも作ることは大いなる挑戦である：クルアーンの中で、神は、人間がクルアーンに類するものを1章でも作ることができるのかと挑んでいる。1400年前にクルアーンが啓示されてから今日まで、成功したものはいない。クルアーンの最も小さい章（第108章）は僅か10の言葉にすぎないのである。
- 3) イスラームの預言者ムハンマド ❷ の出現に関する聖書の預言：このセクションでは、預言者ムハンマド ❷ の出現に関する聖書の預言を論じている。
- 4) 未来の出来事を予見しそれが本当になったクルアーンの節：クルアーンが予見した未来の出来事で後に本当になった例は、ローマ帝国がペルシャ帝国に勝利したことである。
- 5) 預言者ムハンマド ❷ の行った奇跡：預言者ムハンマド ❷ は多くの奇跡を行った。これらの奇跡は多くの人々が証言している。
- 6) ムハンマド ❷ の簡素な生活：ムハンマド ❷ が物質的な利益、尊大さ、権力を得るために預言を主張したニセの預言者でないことが明らかである。

この6つの証拠から、次のことが結論付けられる。

- クルアーンは神によって啓示された御言葉である。
- ムハンマド ❷ は本当に神によって送られた預言者である。
- イスラームは本当に神の宗教である。

宗教の真偽を知りたいと思うならば、感情、感覚、伝統に委ねるのではなく、むしろ、理性と知性に頼るべきである。神が預言者を送られた時、神は、彼等が神から送られた本当の預言者であり、彼等と共に送られた宗教が本物であることを証明する奇跡や証拠を示し、彼らを支えた。

第2章 **イスラームの恩恵** は以下に示すように、イスラームが個々人に与える恩恵について述べている。

- 1) 永遠の樂園への扉
- 2) 地獄からの救い
- 3) 真の幸福と心の平安
- 4) 過去の罪がすべて赦される

第3章 **イスラームの一般情報** では、イスラームについての一般情報を提供し、イスラームに関する間違った概念を修正し、以下のような一般的な質問に答えている。

- イスラームはテロリズムをどのように見なしているのか
- イスラームにおける女性の地位

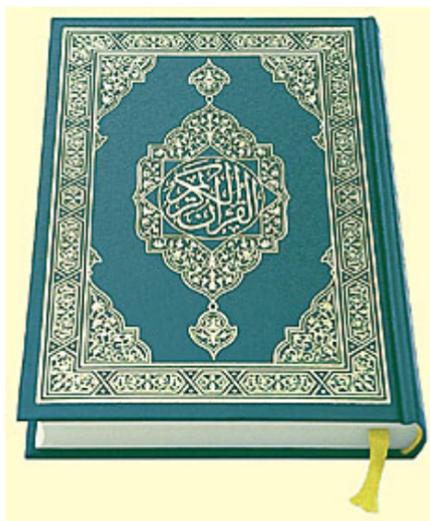
# 第 1 章

## イスラームの真実の証し

神は多くの奇跡や証拠によって、預言者ムハンマド ﷺ が神から送られた最後の預言者であることを示した。また神は、最後の啓典である聖クルアーンが神によって啓示され、神の御言葉そのものであり、人間が書いたものではないことを証明するために多くの奇跡を与えた。本章ではその証しについて論じている。

### (1) 聖クルアーンの 科学に関する奇跡

クルアーンは神の御言葉であり、天使ガブリエルを通じて預言者ムハンマド ﷺ に啓示された。ムハンマド ﷺ は暗唱した後、教友たちに伝えた。その後かれらはそれを暗記し、書き写して、預言者ムハンマド ﷺ と共に見直した。さらに、預言者ムハンマド ﷺ は年に一度天使ガブリエルと見直し、彼が亡くなる年には、2回見直した。クルアーンが啓示された時から今まで、クルアーンを一言一句すべて暗唱した多くのムスリムがいる。ムスリムの中には、10歳でクルアーンを全て覚えたものがある。クルアーンは何世紀にもわたって一字も変えられていない。



1400 年前に啓示されたクルアーンは、近年になって初めて科学者が発見し証明した事実を述べている。それは紛れもなく、預言者ムハンマド ﷺ に啓示されたクルアーンが神の御言葉であり、ムハンマド ﷺ や他の人間によって書かれたものでないことを証明している。このことはまた、預言者ムハンマド ﷺ が神から送られた本当の預言者であることを証明している。精密な装置や高度な科学的方法によって近年初めて証明された事実が、1400 年も前に分かっていたとは考えられないことである。その例が後に続くページで取り上げられている。

## A) 人間の胎児の発育に関するクルアーン

神は、クルアーンの中で、人間の胎児の発育段階について述べている。

﴿ われは泥の精髓から人間を創った。次に、われはかれを精液の一滴として、堅固な住みかに納めた。それからわれは、その精滴を一つの アラカ (ヒル、釣り下がったもの、血の塊) に創り、次にその アラカ から ムドゥガ (噛み潰したものを) を創り... ﴾<sup>2</sup> (クルアーン 23:12-14)

アラビア語の アラカ には三つの意味がある。(1) ヒル (2) 釣り下がったもの (3) 血の塊である。

アラカ の段階での胎児をヒルと比較すると、図 1 に示されるように両者<sup>3</sup> に類似性が見られる。またこの段階の胎

---

<sup>2</sup>この本で使われている括弧 ﴿...﴾ で囲まれた内容は、クルアーンの意味解釈に過ぎない。アラビア語であるクルアーンの原典ではない。

<sup>3</sup> *The Developing Human* [人間の発育]、ムーア・ペルサウド (Moore & Persaud) 共著、第 5 版、8 頁。

児は、母親の血液から栄養を摂るが、ヒルも同じように他のものの血<sup>4</sup>を吸って生き延びる。

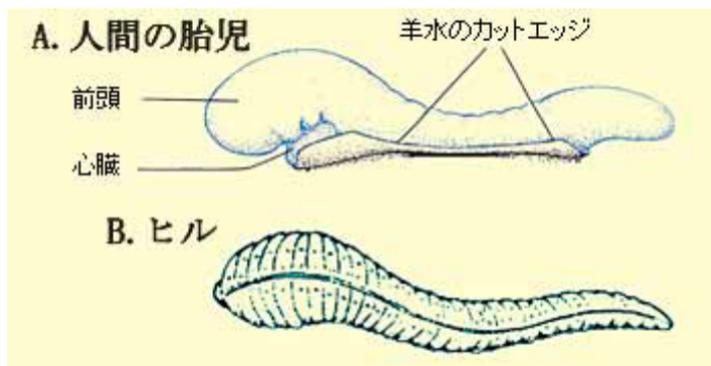


図 1: 上の図はヒルと、アラカの段階での人間の胎児の形の類似性を示している。(ヒルの図の出典: *Human Development as Described in the Quran and Sunnah* [クルアーンとスンナの中で描かれている人間の発育]、ムーア (More) 他 共著、37 頁および *Integrated Principles of Zoology* [動物学の総合的原則]、ヒクマン (Hickman) 他 共著から一部修正。胎児の図の出典: *The Developing Human* [発育する人間]、ムーア・ペルサウド (Moore & Persaud) 共著、第 5 版、73 頁。)

アラカの 2 番目の意味は「釣り下がったもの」である。その意味は、図 2 と図 3 を見ると明らかである。アラカ の段階で、胎児は母親の子宮の中に釣り下がっている。

---

<sup>4</sup> *Human Development as Described in the Quran and Sunnah* [クルアーンとスンナに書かれた人間の発育]、ムーア (Moore) その他共著、36 頁。

図 2: この図では、アラカの段階で母親の子宮の中でぶら下がっているのが分かる。(The Developing Human [人間の発育]、ムーア・ペルサウド (Moore & Persaud) 共著第 5 版、66 頁。)

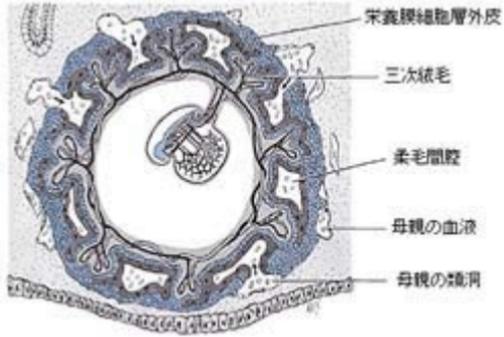
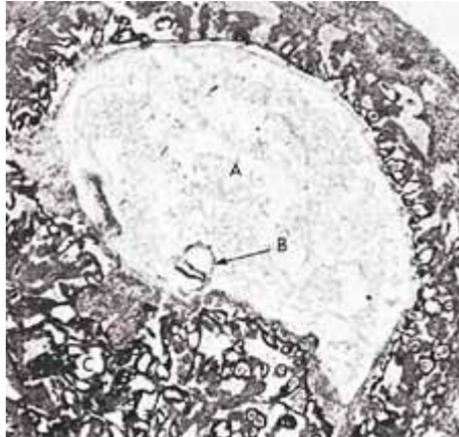


図 3: この顕微鏡写真では、母親の胎内でアラカの段階(15 日目)の胎児 (B の矢印) がぶら下がっているのが分かる。胎児の実際の大きさは約 0.6 mm である。(The Developing Human [発育する人間]、ムーア (Moore) 著、第 3 版、66 頁 Histology [組織学]、リーソン及びリーソン (Leeson & Leeson) 共著)

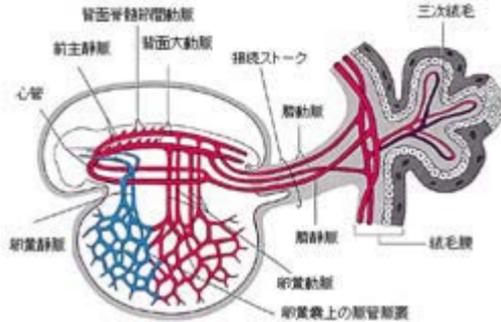


アラカの 3 番目の意味は、血の塊である。アラカの段階での胎児の外観とその嚢は、血の塊と似ている。この段階<sup>5</sup>

<sup>5</sup> Human Development as Described in the Quran and Sunnah [クルア

の胎児の中に、比較的大量の血液が存在するためである。(図4を参照)。またこの段階では、胎児の中の血液は第3週目<sup>6</sup>が終わるまで循環しない。そのため、この段階での胎児は血の塊に似ている。

**図4：アラカの段階にある胎児の基本循環器系図。** 胎児の外観とその嚢は、胎児の中に比較的大量の血があるため、血の塊と似ている。



(*The Developing Human* [人間の発育]、ムーア (Moore) 著、第5版、65頁。)

このように、アラカという言葉の三つの意味は、アラカの段階にある胎児の内容と正確に一致している。

クルアーンの中で述べられている二番目の段階は ムドゥガである。アラビア語の ムドゥガは、噛んだものを意味する。ガムを口の中に入れて噛み潰したものを、ムドゥガの段階にある胎児と比較すると、それは噛んだものようになる。特に胎児の背中中の体節が、噛み潰したもの<sup>7</sup>の歯形と若干似ているからである。(図5と図6を参照)。

---

ーンとスンナに書かれた人間の発育]、ムーア (Moore) その他共著、37-38頁。

<sup>6</sup> *The Developing Human* [人間の発育]、ムーア・ペルサウド (Moore & Persaud) 共著、第5版、65頁。

<sup>7</sup> *The Developing Human* [人間の発育]、ムーア・ペルサウド (Moore & Persaud) 共著、第5版、8頁。

図5: ムドゥガの段階  
(28日目)にある胎児  
の写真

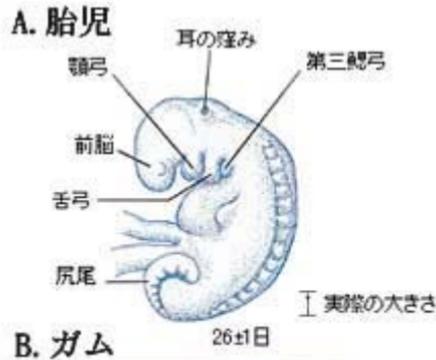
この段階の胎児は噛み  
潰したもののように見  
えるが、それは胎児の  
背中にある体節が歯形  
と似ているからであ  
る。胎児の実際の大き  
きは4 mmである。

(*The Developing  
Human*[人間の発育]、  
ムーア・ペルサウド  
(Moore & Persaud)  
共著、第5版、82頁、  
京都大学西村秀雄教授  
引用)



図 6: ムドゥガの状態にある胎児の外観と噛み潰したガムを比べると、両者に類似点があることが分かる。

A) ムドゥガの段階にある胎児の図



B. ガム



胎児の背中にある体節が歯形のように見える。(The Developing Human[人間の発育]、ムーア・ペルサウド (Moore & Persaud) 共著、第5版、79頁。)

B) 噛み潰したガムの写真

ムハンマド **薬** はどのようにして、1400年も前にこのような事実を知りえたのだろうか。これらの知識は、その当時存在しなかった精密な機器や高性能な顕微鏡を使って、科学者が近年になって初めて発見したのである。ハムとリーエンホエクは1677年に、改良された顕微鏡を使って精細胞(精子)を観察した最初の科学者である。ムハンマド **薬** の時代から既に1000年も経っていたのである。彼らは、精細胞が女性の生殖管に挿入されると、前もって形成された人間のミニアチュアが成長すると誤解していた。<sup>8</sup>

<sup>8</sup> The Developing Human [人間の発育]、ムーア・ペルサウド (Moore &

キース・ムーア (Keith Moore) 名誉教授は 解剖学と胎生学の分野で世界的に最も高名な科学者であり、*The Developing Human* [人間の発育] の著者である。科学的な参考文献であるこの著書は、8ヶ国語に訳されており、米国の特別な委員会で、1人の著者によって書かれた最も優れた本に選ばれた。キース・ムーア博士はカナダのトロント大学の解剖学・細胞生物学の名誉教授である。博士はこの大学の医学部で基礎科学の副学部長を務め、解剖学科の主任を8年務めた。1984年には、カナダの解剖学の分野で最も優れた賞である、J.C.B 大賞をカナダ解剖学者協会から授与された。またムーア教授は、カナダ・米国解剖学者協会や生命科学連盟委員会など、多くの国際協会を指導してきた。

1981年、サウジアラビアのダンマンで開催された第7回医学会議で、ムーア教授は次のように述べた。「人間の発育に関するクルアーンの説明を明確にする手助けをすることは、私にとってたいへん喜ばしいことである。これらの説明が神からムハンマドに送られたことは、私にとって自明である。なぜならこれらの知識は全て、何世紀も後になって初めて発見されたからである。この事実はムハンマドが神の預言者であったことを証明している。」<sup>9</sup>

ムーア教授はその後、次のような質問を受けた。「それならば、あなたはクルアーンが神の御言葉であると信じているという意味ですか。」すると彼は答えた。「それを受け入れることは私にとって難しいことではありません。」<sup>10</sup>

ムーア教授はある会議で次のように述べた。「...人間の胎児の段階付けは、発育の途中で変化するプロセスが続くため複雑であり、クルアーンとスンナ (ムハンマド ~~の~~の言行、認めたこと)の中で述べられている用語を使って分類する新しいシステムの開発が望ましい。提案されたシステム

---

Persaud) 共著、第5版、9頁。

<sup>9</sup> この発言の出典は *This is the Truth* [これが真実である] (ビデオテープ)。このビデオテープのコピーは [www.islam-guide.com/truth](http://www.islam-guide.com/truth)

<sup>10</sup> *This is the Truth* [これが真実である] (ビデオテープ)。

はシンプルかつ包括的であり、現代の胎生学の知識と適合している。過去4年間、クルアーンとハディース（預言者ムハンマド ﷺ の教友たちが彼の言行や認めたことを伝えた、信頼できる伝承）を集中的に研究した結果、人間の胎児を分類するシステムが明らかになったが、それが7世紀に記録されたことは驚くべき事実である。胎生学の創始者であるアリストテレスは、紀元前4世紀に鶏の卵を調べ、ヒヨコの胚が段階的に発育することに気付いたが、この段階について詳しく述べなかった。胎生学の歴史で知られていることに限ると、人間の胎児の発達段階とその分類は、20世紀になるまで殆ど解明されていなかった。このことから、人間の胎児に関するクルアーンの説明は、7世紀の時点で科学的な知識を基にしていたとは考えられない。最も妥当な結論は、クルアーンが神からムハンマドに啓示されたということである。彼は科学的な訓練を受けたことのない文盲であり、詳しいことを知りえたはずがない。<sup>11</sup>

## B) 山に関するクルアーン

*Earth* [地球] という題の本は、世界中の大学で広く利用されている基礎的な参考用教科書である。この本の共著者の一人が、フランク・プレス (Frank Press) 名誉教授である。彼はジミーカーター元米大統領就任中の科学顧問であり、ワシントンにある国立科学アカデミーの所長を12年間務めた。彼は著書の中で、山には基礎を形成する根があると述べている<sup>12</sup>。これらの根は地中深く埋められ、杭のような形をしている (図7、8、9を参照)。

<sup>11</sup> *This is the Truth* [これが真実である] (ビデオテープ)。コピーの入手は脚注(9)を参照。

<sup>12</sup> *Earth* [地球]、プレス・シルバー (Press & Siever) 共著、435頁。また *Earth Science* 「地球の科学」を参照。ターバック・リュートゲンズ (Turbuck & Lutgens) 共著、157頁。

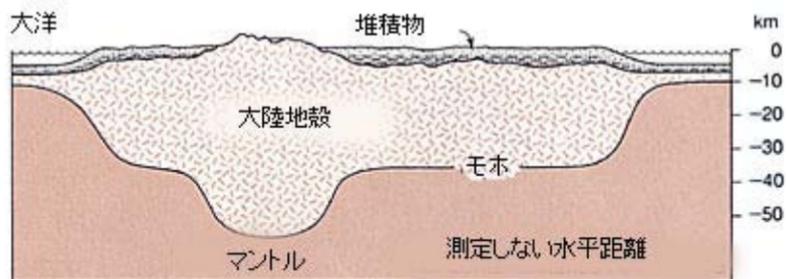


図 7: 山は地面の下に深い根を持っている。(Earth[地球]、プレス・シルバー(Press & Sliver) 共著、413 頁)

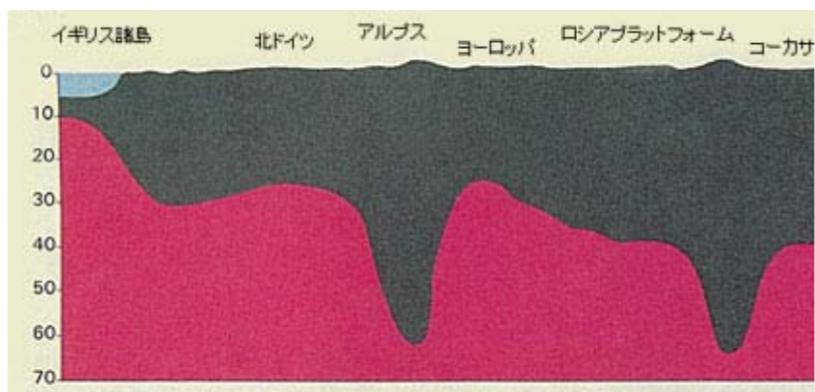


図 8: 構造図。山は杭のように地中に深く埋められた根を持っている。(Anatomy of the Earth[地球の構造]、カイユ(Cailleux)著、220 頁。)

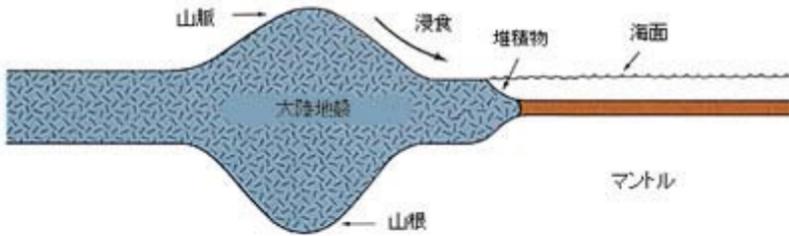


図 9: この図は山に深い根があり、杭のような形になっていることを示している。(Earth Science[地球の科学]、ターバック・リュートゲンズ (Tarbuck & Lutgens) 共著、158 頁。)

これはクルアーンが山について説明しているとおりである。神はクルアーンの中で述べている。

🏔️ われは大地を臥所（ベッド）とし、また山々  
を、杭としたではないか。 🏔️

(クルアーン 78:6-7)

現代の地球科学は、山の地中に深い根があり(図 9)、これらの根が標高の数倍にまで及ぶことを証明している。<sup>13</sup> このデータを元に、山を説明する上で最も適した言葉が、杭である。適切に埋め込まれた杭の大半は地中に隠されているからである。科学の歴史を見ると、山に深い根があると主張する理論は、19 世紀後半に初めて唱えられた<sup>14</sup>。

また山は、地殻を安定させるために重要な役割を果たしている<sup>15</sup>。山が地球の震動を妨げていることを、神はクルアーンの中で述べている。

---

<sup>13</sup> *The Geological Concept of Mountains in the Quran* [クルアーンにおける山の地質学的概念]、エル・ナッガール (El-Naggar) 著、5 頁。

<sup>14</sup> *The Geological Concept of Mountains in the Quran* [クルアーンにおける山の地質学的概念]、5 頁。

<sup>15</sup> *The Geological Concept of Mountains in the Quran* [クルアーンにおける山の地質学的概念]、44-45 頁。

◀ またかれは、地上に山々を堅固に据えられた。  
これはあなたがたを震動させないためである。▶  
(クルアーン 16:15)



同じように、地質構造学の現代理論は、山に地球を安定させる働きがあることを認めている。地球を安定させる山の機能に関するこの情報は、地質構造学では1960年代後半以降になって初めて理解されてきたのである<sup>16</sup>。

預言者ムハンマド ﷺ の時代に、山の本当の形を知っている者がいたであろうか。科学者が主張するように、自分の目の前にある大きな塊のような山が、実際には地中深く潜り、根があることを想像できるものがいたであろうか。現代の地質学は、クルアーンの内容が真実であることを認めている。

## C) 宇宙の起源に関するクルアーン

現代宇宙科学は、観測および理論のいずれにおいても、宇宙全体がある時点で、煙の塊(不透明で密度の高い、高温のガス)<sup>17</sup>であったことを解明している。これは現代宇宙学の基本原則として、論駁される余地のない事実である。科学者達は、この煙の残留から新しい星が形成される様子を観察することができる(図10と図11を参照)。

---

<sup>16</sup> *The Geological Concept of Mountains in the Quran* [クルアーンにおける山の地質学的概念]、5頁。

<sup>17</sup> *The First Three Minutes, a Modern View of the Origin of the Universe* [最初の三分間、宇宙の起源に関する現代の見解]、ワインバーグ(Weinberg)著、94-105頁。



図 10: 全宇宙の発生源である煙の残留物のガスと塵（雲上浮遊物）から形成された新しい星（The Space Atlas [宇宙アトラス]、ヒーザー・ヘンベスト（Heather & Henbest）共著、50 頁。）



図 11: ラグーン星雲はガスと塵の雲であるが、直径は約 60 光年である。星雲はその塊の中で最近形成された高温の星の赤外線放射によって励起された。(Horizons, Exploring the Universe[ ホライゾンス、宇宙を探検する ], シーズ( Seeds ) 著、9 版、天文学研究大学協会)

夜空に輝く星は、宇宙全体と同じように「煙」の物質の中にある。神はクルアーンの中で仰せられた。

◀それからかれはまだ煙であった天に転じられた▶  
(クルアーン 41:11)

天体(太陽、月、星、惑星、星雲など)と地球はこの同じ「煙」から形成されているため、天体と地球は一つにまとまったものであったと結論付けられる。そして、この同質の「煙」から、それらは形成され、お互いに離れていったのである。神はクルアーンの中で述べられている。

◀ 信仰しない者たちには分からないのか。天と地は、一緒に合わさっていたが、われはそれを分けた ▶ (クルアーン 21:30)

アルフレッド・クローナ(Alfred Kroner) 博士は世界的に著名な地質学者であり、ドイツのマインツにあるヨハネス・グーテンベルグ大学の地球科学協会地質学部会長である。その彼が次のように言った。「ムハンマドがどこから来たかを考えると、．．． 彼が宇宙の共通の起源について知りえたとは考えられない。これは、科学者達が非常に複雑で高性能な技術方法を使って、ここ数年になって初めて発見した事実なのである。」<sup>18</sup> 彼はまた次のように述べた「1400年前に核物理学について何も知らない者が、自分の考えだけで地球と天体の起源が同じであると発見できる立場にあったとは考えられない。」<sup>19</sup>

## D) 大脳に関するクルアーン

神はクルアーンの中で、預言者ムハンマド ﷺ にカーバでの礼拝を禁じた邪悪な不信心者について、仰せられた。

◀ 断じてそうではない。もしかれが止めないならば、われは ナセヤ (前頭部) でかれを捕まえるであろう。嘘つきで、罪深い ナセヤ (前頭部)! ▶ (クルアーン 96:15-16)

クルアーンは、どうして前頭部を嘘つきで罪深いと説明するのであろう。クルアーンはなぜその人間が嘘つきで罪深い

---

<sup>18</sup> この言葉は *This is the Truth* [これが真実である] (ビデオテープ)を参照。このビデオテープのコピーは [www.islam-guide.com/truth](http://www.islam-guide.com/truth)

<sup>19</sup> *This is the Truth* [これが真実である] (ビデオテープ)。

と言わないのであろう。前頭部と、嘘つきで罪深いこととの間に関係はあるのだろうか。

前頭部の頭蓋骨を見ると、大脳の前頭葉があるのが分かる(図 12 を参照)。生理学では、この部位の機能についてどのように説明しているのだろうか。 *Essentials of Anatomy & Physiology* [解剖学および生理学の本質] という題の著書では、この部分について、「動作を計画し、始めるための動機付けと予見は前頭葉の前部で起こる。ここは連合皮質の部位である..」<sup>20</sup>とし、この著書によると、「動機との関わりに関連して、前頭部は攻撃の機能的中心であると見なされている...」。<sup>21</sup>

このように、大脳のこの部位は善い行いと悪い行いを計画し、実行させる。また嘘をついたり、真実を語るのもこの部位が担っている。まさにクルアーンが、「..嘘つきで、罪深いナセヤ (前頭部)！」と述べているように、前頭部を嘘つきで罪深いというのは的を得ている。

---

<sup>20</sup> *Essentials of Anatomy & Physiology* [解剖学と生理学の本質]、シーレイ (Seeley) 他共著、211 頁。また *The Human Nervous System* [人間の神経組織]、ノーバック (Noback) 他共著、410-411 頁を参照。

<sup>21</sup> *Essentials of Anatomy & Physiology* [解剖学と生理学の本質]、シーレイ (Seeley) 他共著、211 頁。

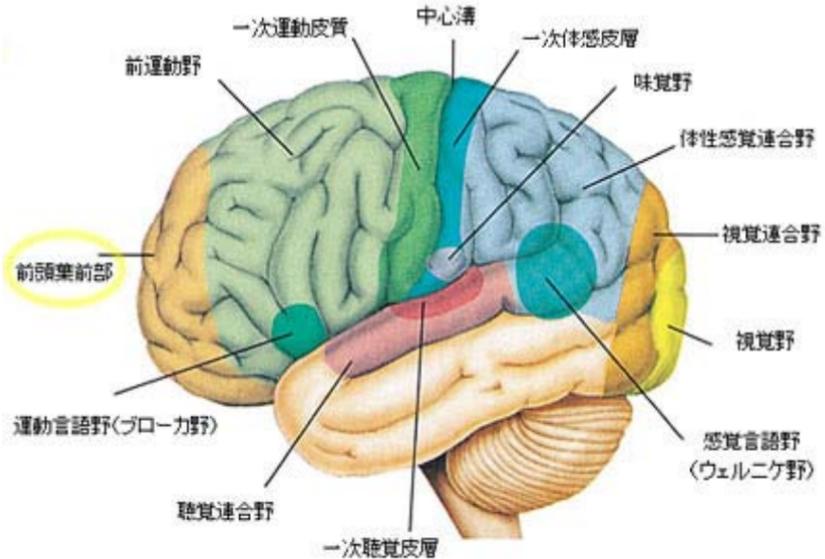


図 12: 大脳皮質の左半球の機能部位。前頭部は大脳皮質の前部にある。(Essentials of Anatomy & Physiology[ 解剖学と生理学の本質 ], シーレイ ( Seeley ) 他共著、210 頁。)

キース・ムーア教授によると、科学者は前頭葉のこれらの機能について 60 年前に発見したばかりである。<sup>22</sup>

<sup>22</sup> *Al-Ejaz al-Elmy fee al-Naseyah (The Scientific Miracles in the Front of the Head)* [前頭部に関する科学的奇跡]、ムーア (Moore) 他共著、41 頁。

## E) 海と川に関するクルアーン

現代科学は、二つの異なる海が会う場所の間に、障壁があることを発見した。この障壁は二つの海を分離し、それぞれの海の温度、塩分、濃度が異なる。<sup>23</sup> たとえば、地中海の水は大西洋の水と比べると温暖で、塩分が多く、濃度が低い。地中海の水がジブラルタルの土台の上を通過して大西洋に入ると、本来の温度と塩分、少ない密度のままで深度 1000 メートルを数百キロメートル移動する。地中海の水はこの深さで安定する。<sup>24</sup> (図 13 を参照)

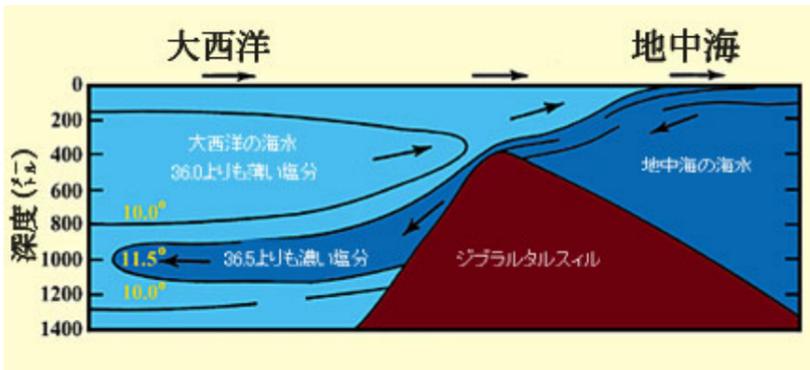


図 13: 温暖で、塩分が多く、濃度の低い地中海の海水が ジブラルタルの土台の上から大西洋に流れていく。それは二つの海に分ける障壁があるためである。温度は摂氏(°C)で示されている。(Marine Geology [ 海洋地質学 ], キューネン(Keunen)、43 頁。若干補足している。)

これらの海の中には大波、激流や潮流があるが、互いに交じり合ったり、この障壁を越えることはない。

<sup>23</sup> *Principles of Oceanography* [海洋学の原則]、デイビス (Davis)、92-93 頁。

<sup>24</sup> *Principles of Oceanography* [海洋学の原則]、デイビス (Davis)、93 頁。

聖クルアーンによると、二つの海の間には障壁があり、それらは合流しても、境界に越えることはない。神は仰せられた。

◀ かれは二つの海を一緒に合流させられる。  
両者の間には障壁があり、一方が他方を制圧す  
ることはない。 ▶ (クルアーン 55:19-20)

しかしクルアーンは真水と海水の隔壁について、障壁の中に「完全な分離帯」があると述べている。神はクルアーンの中で次のように仰せられた。

◀ かれこそは、二つの海を分け隔てられた御方  
である。一方は甘くして旨い、他方は塩辛くて  
苦い。かれは両者の間に障壁と完全に分離する  
隔壁を設けられた。 ▶ (クルアーン 25:53)

クルアーンは真水と海水の間の隔壁について述べているにもかかわらず、何故二つの海の中の隔壁について述べていないのか疑問に思うかもしれない。

現代科学では、淡（甘い）水と海水が合流する河口では、二つの海流が合流する場所で見られる状況と若干異なっていることが発見されている。河口で淡水と海水を分離するものは、「二つの層を分離し、不連続に著しく濃度の異なる比重躍層である。」<sup>25</sup> この仕切り（分離帯）は淡水、海水のいずれとも塩分の濃度が異なっている。<sup>26</sup> (図 14 参照)。

---

<sup>25</sup> *Oceanography* [海洋学]、グロス (Gross)、242 頁。また *Introductory Oceanography* [海洋学入門]、サーマン (Thurman)、300-301 頁を参照。

<sup>26</sup> *Oceanography* [海洋学入門]、グロス (Gross)、244 頁および *Introductory Oceanography* [海洋学入門]、サーマン (Thurman)、300-301 頁。

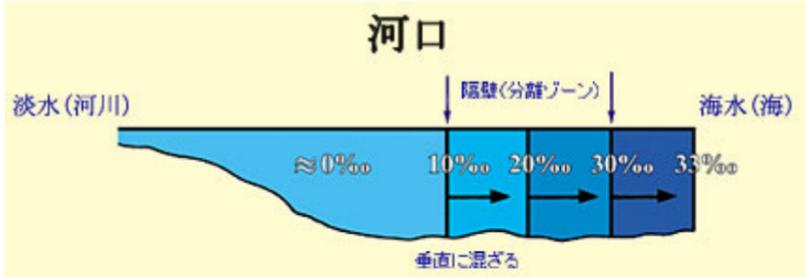


図 14: 縦の分割は河口での塩分の濃度 (千分の 1 単位) を示している。淡水と海水の間の仕切り (分離帯) が示されている。

(*Introductory Oceanography* [ 海洋学入門 ], サーマン ( Thurman ) 著、 301 頁、若干の補強あり)

この情報は温度、塩度、濃度、酸素分離度などを測定する高性能の機器を使って、近年になって初めて発見されたのである。肉眼では、合流する二つの海の違いを見ることはできない。むしろ二つの海は一つの同じ海に見える。同じように、河口で三つの種類の水、淡水・海水・仕切り (分離帯) に別れている様子を肉眼で見ることができない。

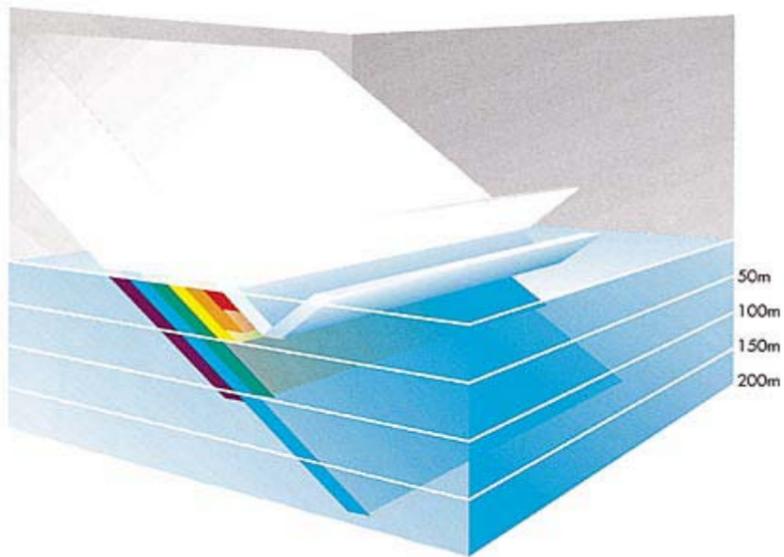
## F) 深海と海中の波に関するクルアーン

神はクルアーンの中で仰せられている。

また (不信心者の状態は)、深海の暗黒のようなものである。その上に波があり、その上をさらに雲が覆っている。暗黒の上に暗黒が重なる。人が手を差し伸べても、それを見ることはできない (クルアーン 24:40)

この節は深海や大洋の中の暗闇について述べている。そこでは人が手を伸ばしても見ることはできない。

深海や大洋の暗黒は水深 200 メートル以下のところにある。この深さでは、殆ど光がない（図 15 を参照）。水深 1000 メートルでは、光は皆無である。<sup>27</sup> 人間は潜水艦や特別な装置がないと、水深 40 メートル以上潜ることができない。大海で暗黒となる水深 200 メートルのような深海では、人間は何らかの助けなしには生存できない。



**図 15:** 太陽光線はその 3 - 30 パーセントが反射する。そして 7 色の光スペクトラムは青色光線以外、ほとんど全ての光線が次々と水深 200 メートルの中に吸収される。(Oceans [大洋]、エルダー・パーネッタ (Elder & Pernetta) 共著、27 頁)

---

<sup>27</sup> Oceans [大洋]、エルダー・パーネッタ (Elder & Pernetta) 共著、27 頁。

科学者達は近年になって、特別装置や潜水艦を使って大洋の深海に潜れるようになってから初めて、この暗黒を発見したのである。

また既に取り上げたクルアーンの以下の節から理解できる。「..深海の・・・その上に波があり、その上をさらに雲が覆っている。....」海や太陽の深海は波で覆われ、その波の上にもまた波がある。すなわち私達が見ている波は表面の波なのである。なぜならこの節では、2番目の波の上には雲があると述べられている。それなら1番目の波はどうなったのだろうか。科学者達は最近、「濃度の異なる層が合流するところで発生する」<sup>28</sup> 海中の波があることを発見した(図16を参照)。

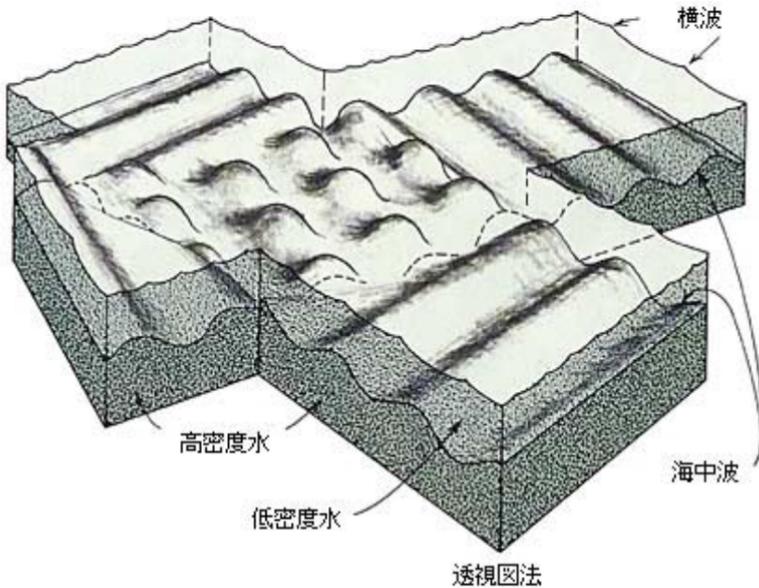


図 16: 濃度の異なる二つの水層の界面で起こる海中の波。下の層は濃度が高く、上の層は濃度が低い。(Oceanography[海洋学]、グロス (Gross) 著、204 頁。)

<sup>28</sup> Oceanography [海洋学]、グロス (Gross)、205 頁。

海中の波は海や大洋の深海を覆っているが、その理由は、その深海がその上にある海水よりも濃度が高いからである。海中の波は水面上の波のように機能する。それらの波は、表面の波と同じように途絶えることがある。海中の波は肉眼で見ることができないが、ある一定の場所では、温度や塩度の変化を調べることによって検知することができる。<sup>29</sup>

## G) 雲に関するクールアーン

科学者は雲の種類を研究し、雨雲は風と雲の種類に関連した一定のシステムと段階に従って形成されることを解明した。

雨雲の一つが積乱雲である。気象学者はこの積乱雲がどのように形成され、それが雨や雹や稲妻をどのように作り出すかを研究した。

気象学者は積乱雲が次の段階によって、雨を作り出すことを発見した。

- 1) **雲は風で流される。** 積乱雲は、風が雲の小片(積雲)の収束地域に押しやる時に形成し始める。(図 17~18 を参照)

---

<sup>29</sup> *Oceanography* [海洋学]、グロス (Gross)、205 頁。

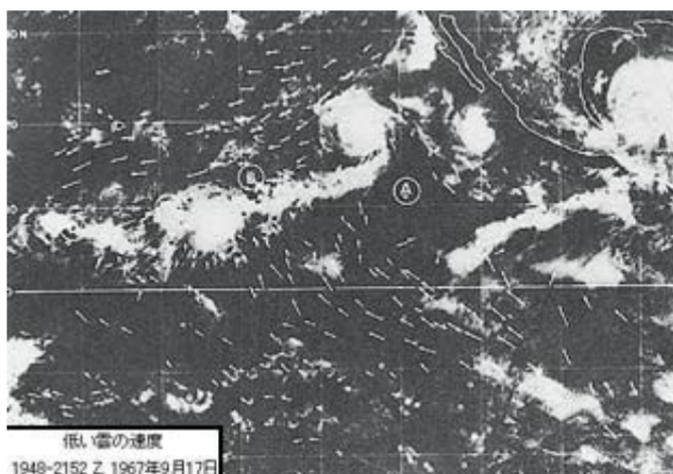


図 17: 衛星写真で雲が収束地域 B、C、D に移動する様子が見える。矢印は風向を示す。( *The Use of Satellite Pictures in Weather Analysis and Forecasting* [ 気象分析と予測における衛星写真の利用 ]、アンダーソン ( Anderson ) 他共著、188 頁。)



図 18: 雲の小片 ( 積雲 ) が大きな積乱雲のある収束ゾーンに集まる。( *Clouds and Storms* [ 雲と嵐 ]、ルドラム ( Ludlam )、プレート 7.4.)

2) 接合: それから小さな雲が接合し、大きな雲を形成する。<sup>30</sup> (図 18~19 を参照).

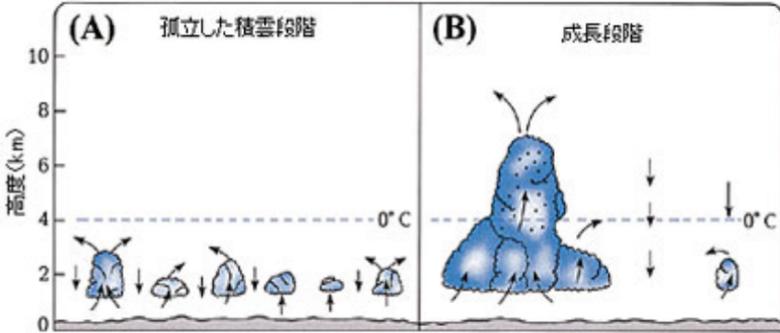
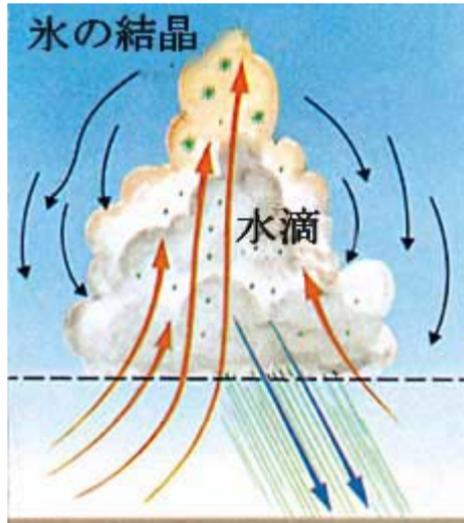


図 19: (A) 分離した雲の小片 (積雲) (B) 小さな雲が集まると、大きな雲の中で上昇気流が高まるため、雲が重なる。水滴は・で示される。(The Atmosphere [大気]、アンセス (Anthes) 他共著、269 頁)

<sup>30</sup> The Atmosphere [大気]、アンセス (Anthes) 他共著、268-269 頁および Elements of Meteorology [気象学の基本]、ミラー・トンプソン (Miller & Thompson) 共著、141 頁を参照。

3) 積重ね: 小さな雲が集まると、大きな雲の中で上昇気流が高まる。雲の中心に近い上昇気流は端に近いものよりも強い。<sup>31</sup> これらの上昇気流によって、雲が垂直に大きくなるため、雲が積み重なっていく。(図 19 (B)、図 20、図 21 を参照)。雲が垂直に形成されるため、大気 of 冷たい地域へと広がっていき、そこで水滴と霰が形成され、次第に大きくなる。これらの水滴と霰が重くなり、上昇気流が支えきれなくなると、雨や霰などが、雲から落ち始める。<sup>32</sup>

図 20: 積乱雲。雲が積み重なった後、雨がその中から出てくる。  
(*Weather and Climate*  
[ 気象と天候 ]、ボーデン (Bodin) 著、123 頁。)



神はクルアーンで次のように仰せられた。

﴿あなたがたは見ないか。 <sup>アッラー</sup>神は優しく雲を動かし、そしてそれらを相い合わせ、それらを積重ね、やがてその中から雨が降るのを。﴾

(クルアーン 24:43)

<sup>31</sup> 上昇気流は、雲の外部による冷却効果から保護されているため、中心に近くなるほど強くなる。

<sup>32</sup> *The Atmosphere* [大気]、アンセス (Anthes) 他共著、269 頁および *Elements of Meteorology* [気象学の基本]、ミラー・トンプソン (Miller & Thompson) 共著、141-142 頁を参照。

図 21: 積乱雲 (A Colour Guide to Clouds [雲の色付ガイド]、スコアラール・ウエクスラー (Scorer & Wexler) 共著、23 頁。)



気象学者が、飛行機、衛星、コンピュータ、気球など最新の装置を駆使して、風とその方向を調べ、湿度とその変化を測定し、気圧のレベルと変化を決定して、雲の形成、構造、機能を知るようになったのは、ごく最近のことである。<sup>33</sup>

次の節は、雲と雨について述べた後、雹と稲妻について述べている。

◀ ....また空の中の山（雲）から雹を降らせ、お好みの者をそれで撃ち、お好みの者を避けられる。稲妻の激しい閃きは、本当に目を奪おうとする。▶ (クルアーン 24:43)

「..またかれは空の中の山（雲）から雹を降らせ、...」とクルアーンで述べられているとおり、気象学者は、雹を降らせ

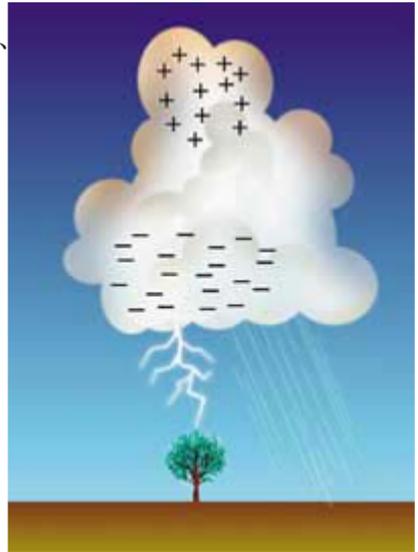
---

<sup>33</sup> *Eejaz al-Quran al-Kareem fee Wasf Anwa al-Riyah, al-Sohob, al-Matar* [イジャーザル・クルアーン・アル・カリーム・フィー・ワシュフ・アンワ・アル・リヤド、アル・ソーホブ、アル・マタル]、マッキー (Makky) 他共著、55 頁を参照。

るこの積乱雲が、山のように 7600~9100 メートル (7.6~9.1 キロ) の高さになることを発見した。<sup>34</sup>(図 21 を参照)。

この節には疑問が生じるかもしれない。この節は雹に関連してなぜ、**稲妻**とするのだろうか。すなわち雹が稲妻を作り出す主な要因なのだろうか。そこで *Meteorology Today* [今日の気象学] という題の本の中で、どのように書かれているか調べてみよう。雹が、非常に冷却された水滴と氷の結晶でできた雲の中を通過する時に、雲が感電すると書かれている。

水滴が雹の粒と衝突すると、くっついて固まり潜熱を放出する。そのため雹の粒の表面は氷の結晶の回りよりも暖くなる。雹の粒が凍りの結晶と接触すると、重要な現象が起こる。電子が冷たい物質から暖かい物質に流れる。こうして、雹の粒は負電荷になる。極端に冷却された水滴が雹の粒と接触したとき同じことが起こり、正電荷の小さな氷の粒が壊れる。この軽い正電荷の分子は上昇気流によって雲の上に乗られる。負電荷のままである雹は雲の下に落ちるため、雲の下部は負電荷になる。これらの負電荷は稲妻<sup>35</sup>として放電されるのである。このことから、雹が稲妻を作り出す主な要因であるといえる。



稲妻に関するこの情報は、最近になって発見された。西暦 1600 年までは、気象学に関するアリストテレスの見解が優勢であった。たとえば、彼は大気の中には二つの気象現象、

<sup>34</sup> *Elements of Meteorology* [気象学の基本]、ミラー・トンプソン(Miller & Thompson)共著、141 頁。

<sup>35</sup> *Meteorology Today* [今日の気象学]、アーレンス(Ahrens)著、437 頁。

湿気と乾燥があると述べた。また彼によると、雷は乾気が周囲の雲とぶつかり合う音であり、稲妻は乾気がごく僅かの炎<sup>36</sup>で点火し燃えるためであると述べている。これは1400年前にクルアーンが啓示された時代に優性であった気象学の考え方である。

## H) 聖クルアーンの科学に関する奇跡 についての科学者のコメント

聖クルアーンの科学に関する奇跡についての科学者のコメントが以下に示されている。これらのコメントは全て、*This is the Truth* [これが真実である] という題のビデオテープから抜粋している。このビデオテープでは、科学者が実際にコメントを述べている様子や肉声を聞くことができる。（このテープのコピーを見るには、[www.islam-guide.com/truth](http://www.islam-guide.com/truth) にアクセスしてください。）

1) T. V. N. ペルサウド(T. V. N. Persaud)博士はカナダのマニトバ、ウィニペグにあるマニトバ大学の解剖学、小児科・児童健康学の教授であり、また産婦人科、再生科学の教授である。ペルサウド教授はこの大学で解剖学部長を16年間務め、この分野では著名である。22冊の教科書を執筆・編集し、181以上の科学論文を発表している。1991年、解剖学の分野ではカナダで最も優れた賞であるカナダ解剖学学会 J. C. B 最優秀賞を受賞した。彼が研究したクルアーンの科学に関する奇跡について尋ねられた時、次のように答えた。

「聞くとところによると、ムハンマドは普通の人であった。彼は読むことができず、文字も知らなかった。事実、彼は文盲であった。そして私達は1200年[実際は1400年]前のことを話しているのである。当時文盲の人間が科学的な性質に

---

<sup>36</sup> *The Works of Aristotle Translated into English: Meteorologica* [アリストテレス著作集英訳：気象学] 第3巻、ロス (Ross)他共著、369a-369b頁。

ついて驚くほど正確なことを発表しているのである。私は個人的にはこれが単なる偶然であるとは思えない。あまりにも多くのことが正確であるため、ムーア博士と同じように、彼にこのような発言をさせたものが神のお告げまたは啓示であったとすることに、何ら矛盾を感じない。」

ペルサウド博士は彼の著書の一部にクルアーンの節と預言者ムハンマド ﷺ の言葉を引用している。またこれらの節と預言者ムハンマド ﷺ の言葉を会議でも発表している。

2) ジョー・レイ・シンプソン (Joe Leigh Simpson) 博士は米国テキサスのヒューストンにあるベイラー医科大学の産婦人科部の教授であり同部長、分子・人類遺伝学の教授である。彼は以前、米国テネシー州メンフィスのテネシー大学産婦人科教授であり、産婦人科部の部長であった。また米国不妊治療学会の理事長も務めた。彼は、1992年に受賞した産婦人科教授協会一般認識賞を含め、多くの賞を受賞している。シンプソン教授は預言者ムハンマド ﷺ の次の二つの言葉を研究した。

{あなたがたのだれもが、40日間母親の胎内で、あなたがたの各部が集められる...} <sup>37</sup>

{胎児が42日間経過すると、神が天使を送り、その天使が胎児の形を作り、聴覚、視覚、皮膚、肉、骨を創る....} <sup>38</sup>

シンプソン博士は預言者ムハンマド ﷺ のこの二つの言葉を広範囲にわたって研究し、胎児形成で最初の40日間が明確に区別できる段階であることに注目した。特に彼は、預言

---

<sup>37</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2643 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・ブハリ] #3208 の伝承。

注: 本文での特別な括弧 {...}は 預言者 ﷺ の言葉を訳したものである。また脚注で使われている記号 # は *hadeeth* [ハディース] の番号を示している。*hadeeth* [ハディース] は預言者ムハンマド ﷺ の教友によって、彼の言動や認めたことを伝えた信頼できる記録である。

<sup>38</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2645 の伝承。

者ムハンマド<sup>ﷺ</sup>の言ったことが非常に正確であることに感銘した。ある会議で、彼は次のような意見を述べた。

「取り上げた二つの ハディース（預言者ムハンマド<sup>ﷺ</sup>の言行録）から、40 日以前の主な胎生学的発達の特別な予定表が明らかになりました。このハディースが、書かれた時代に広がっていた科学的な知識を元に得られたものではないことを、他の講演者が繰り返し明らかにしたいと思います…。それは、遺伝学と宗教の間に対立がないばかりでなく、宗教が伝統的な科学的方法に啓示を与えることによって、科学を先導できるということだと思います。クルアーンの中には数世紀後になって初めて、正しいと分かった言明があり、この事実は、クルアーンが神から啓示されたものであることを支持しています。」

3) イー・マーシャル・ジョンソン (E. Marshall Johnson) 博士は米国ペンシルバニア州フィラデルフィアのトーマス・ジェファーソン大学の解剖学発生生物学の名誉教授である。彼はその大学で解剖学の教授、解剖学部長、ダニエル・ボー研究所所長を 22 年間務めた。彼は奇形学会の会長でもあった。また 200 冊以上の出版物を出している。1981 年サウジアラビアのダンマンで開かれた第 7 回医学会議の際、ジョンソン教授は彼の研究論文の発表で次のように述べた。

「要約：クルアーンは創造と発生の外形の発達だけではなく、胎内の発育段階を説明しており、現代科学によって認識された重大な事実を強調している。」

また彼は次のように述べた。「私は科学者として、自分が見ることのできる特定のことしか扱うことができません。胎生学と発生生物学を理解し、クルアーンから翻訳された言葉を理解することもできます。先ほど例を挙げたように、あの時代に自分がもどされたとしても、今私が知っていることと説明されていることを知っていたとしても、クルアーンの中で説明されていることを説明できなかつたでしょう。この事実について、ムハンマドという個人がどこかから

この情報を作り上げたに違いないという考え方を論駁するための証拠が見当たらないのです。だからこそ、彼が書きえたことには神の関与があったという考え方に何ら異論はありません。」<sup>39</sup>

4) ウィリアム・ヘイ(William W. Hey)博士は著名な海洋学者である。彼は米国コロラド州ボルダーのコロラド大学地質科学の教授である。彼は以前、米国フロリダ州マイアミのマイアミ大学海洋大気科学ローゼンシャル学部長であった。海について最近発見された事実がクルアーンに述べられていることを、ヘイ教授は次のように述べた。

「このような情報が古代の聖クルアーンに書かれていることは非常に興味深い。この情報がどこから得られたのかを知る方法はないが、それがクルアーンの中にあり、この研究がその中の意味を発見しつつけていることは非常に興味深い。」そして彼がクルアーンの情報源を尋ねられると、次のように答えた。「それは聖なる存在にちがいないと思う。」

5) ジェラルド・ジョーリンガー(Gerald G. Goeringer)博士は米国ワシントンのジョージタウン大学医学部細胞生物学部医学発生学のコースディレクター、助教授である。サウジアラビアのリアドで開かれた第8回医学会議で、ジョーリンガー教授は研究論文の発表で次のように述べた。

「比較的数少ない アーヤ(クルアーンの節)の中に、生殖体の混合時から器官発生に至るまで、人間の発生が包括的に記述されています。人間発生に関して分類、用語、記述などのこれほど完全で際だった記録は今まで存在しません。全てと言わなくとも、たいていの場合、この記述は伝統的な科学文献に記録された人間の胚と胎児の発生に関する様々な段階の記録を何百年も早めることになるでしょう。」

---

<sup>39</sup> 預言者ムハンマド ﷺ は文盲であった。彼は読み書きができなかったが、クルアーンを教友に伝え、一部の者たちに記録するように命じた。

6) 香西義英博士は日本の東京大学の名誉教授であり、東京三鷹にある国立天文台の観測所所長であるが、彼は次のように述べた。

「クルアーンの中で天文学に関する本当の事実を見つけたことに非常に感動しています。我々現代の天文学者は宇宙の非常に小さい部分を研究してきました。非常に小さい部分を理解することに努力を傾けてきたのです。望遠鏡を使って、宇宙全体について考えずに、天空の非常に狭い部分だけを見てきたのです。クルアーンを読んで、その質問に答えることによって、私は宇宙を研究する自分の将来の方法を見出すことができたと思います。」

7) テジャタート・テジャセン(Tejatat Tejasen)教授はタイのシアンマイ大学解剖学部長である。彼は以前、この大学の医学部長であった。サウジアラビアのリアドで開かれた第8回医学会議で、テジャセン教授は立ち上がり、次のように述べた。

「私は3年程前からクルアーンに興味を持ち始めました．．．．私自身の研究とこの会議で学んだことから、1400年前にクルアーンに記録されたことは全て真実であり、科学的な手段によって証明できると信じています。預言者ムハンマドが文盲であったことから、彼はこの真実を伝えた使徒にちがいないと思います。この真実は正当な創造者から与えられた悟りとして彼に啓示されたのです。この創造者こそ神にちがいません。今こそ ラー・イラーハ・イッラー（アッラー（神）の外に崇拝する神はない）、ムハンマド・ラスールッラー（ムハンマドはアッラー（神）の使徒（預言者）である）と言う時がきました。最後に、この会議の素晴らしい開催と成功を祝福しなければなりません．．．．科学と宗教の観点だけではなく、多くの著名な科学者と会い、参加者の方々から多くの新しい友人を得ました。この場にやってきて私が得た最も貴重なことは、ラー・イラーハ・イッラー、ムハンマド・ラスールッラー（アッラーの外に神はなく、ムハンマドはアッラーの使徒である）であり、ムスリムになったことです。」

聖クルアーンの科学に関する奇跡とそれについての科学者のコメントを検討した後、次の疑問を自問してみたいと思う。

- いろいろな分野で近年発見された科学的な情報が、1400年前に啓示されたクルアーンの中に述べられていることは単なる偶然に過ぎないのだろうか。
- このクルアーンはムハンマド  あるいは他の人間が書くことができたのだろうか。

唯一考えられる答えは、このクルアーンが神によって啓示された御言葉に違いないということである。

## (2) 聖クルアーンに類するものを1章でも作ることは大いなる挑戦である

神はクルアーンの中で仰せられた。

 もしあなたがたが、わがしもべ(ムハンマド )に下した啓示(クルアーン)を疑うならば、それに類する1章でも作ってみなさい。もしあなたがたが正しければ、<sup>アッラー</sup>神以外のあなたがたの証人(支持者や援助者)を呼んでみなさい。もしあなたがたにそれができないならば、いや、出来るはずはないのだが、それならば、人間と石を燃料とする(地獄の)業火を恐れなさい。それは不信心者のために用意されている。(ムハンマドよ)信仰して善行に勤しむ者たちには、かれ

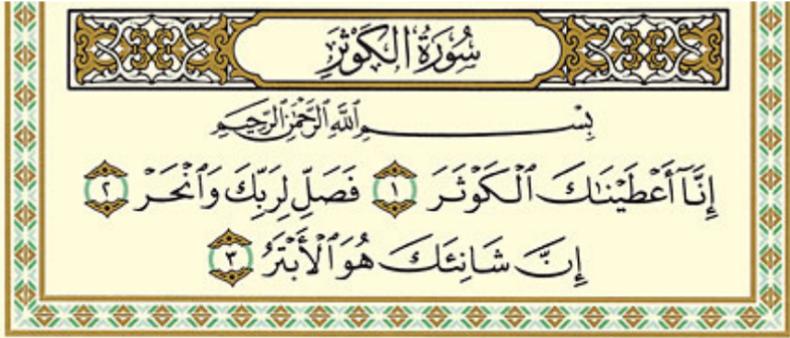
らのために、川が流れる庭（樂園）についての吉報を伝えなさい。 . . . . 🏹 (クルアーン 2:23-25)

1400 年前にクルアーンが啓示されて以来、クルアーンに匹敵するものを 1 章でも作り出したものはいなかった。美しく、雄弁かつ壮大であり、聡明な法律、真の情報と預言、その他完璧な特徴をもっている。クルアーンの最も短い章（第 108 章）は 10 個の（アラビア語の）単語で書かれているにすぎないが、いまだかつて誰もそれに挑んだものはない。<sup>40</sup> 預言者ムハンマド ﷺ の敵であった不遜なアラブ人は、ムハンマド ﷺ が本当の預言者ではないと証明しようとして、クルアーンに類する節を作ろうとしたが、うまくいかなかった。<sup>41</sup> クルアーンは彼らの言葉と方言で啓示されており、ムハンマド ﷺ の時代のアラブ人は非常に雄弁であり、美しく素晴らしい詩を作っていた。それらが現在でも詠まれ評価されているという事実にも関わらず、かれらの試みは失敗したのである。

---

<sup>40</sup> *Al-Borhan fee Oloom Al-Quran* [アル・ボルハン・フィー・オルーム・アル・クルアーン]、アル・ジャルカシ (Al-Zarkashy) 著、第 2 巻、224 頁を参照。

<sup>41</sup> *Al-Borhan fee Oloom Al-Quran* [アル・ボルハン・フィー・オルーム・アル・クルアーン]、アル・ジャルカシ (Al-Zarkashy) 著、第 2 巻、226 頁を参照。



クルアーンの中で最も短い章(第 108 章)は 10 個の(アラビア語の)単語で書かれているにすぎないが、聖クルアーンに類する 1 章を作ろうとして、うまくいったものは誰もいない。

### (3) イスラームの預言者ムハンマド ﷺ の出現に関する聖書の預言



預言者ムハンマド ﷺ の出現に関する聖書の預言は、聖書を信じる人々にとってイスラームの真実を証明している。

旧約聖書申命記 18 の中で、モーゼは神が語ったことを述べた。「われはあなたのような預言者を彼らの兄弟の中から育て

るであろう。われはわれの言葉を彼に語らせ、彼はわれが命じることを全て彼らに告げるであろう。預言者がわれの名で話すわれの言葉を聞かないものは、われが呼びつけ責任を取らせる(申命記 18:18-19)。<sup>42</sup>

<sup>42</sup> 本文の節は King James Version [キングジェームズ版] を指す KJV と書かれているもの以外は全て The NIV Study Bible, New International Version [NIV 研究聖書・新国際版] を指している。

これらの節から、我々はここで預言された預言者が次の三つの特徴を持っているという結論に達した。

- 1) 彼はモーゼのようである。
- 2) 彼はイスラエルの兄弟、すなわちイシュマエル人から生まれるであろう。
- 3) 神は御言葉をこの預言者に語らせ、彼は神が彼に命じたことを宣言するであろう。

ではこの三つの特徴をより詳しく調べてみよう。

## 1) モーゼのような預言者

モーゼとムハンマド **ﷺ** の二人ほどよく似た預言者は他にいない。二人には包括的な法律と人生の規範が与えられた。二人とも敵に見舞われ、奇跡的な方法で勝利を収めた。二人とも預言者だけでなく政治家として認められた。二人とも暗殺の陰謀から逃れるために移住した。モーゼとイエスの類似は、上述した共通点だけでなく、他の重要な点を見過ぎしている。それはモーゼとムハンマド **ﷺ** の自然な誕生、家庭生活、そして死であり、イエスとは異なる。さらに、イエスは信者たちから神の子と見なされ、モーゼやムハンマド **ﷺ** のように単なる預言者とされていない。ムスリムはイエスを預言者であると信じているが、キリストの信者たちはキリストをそのようには信じていない。そのためこの預言はイエスではなく、預言者ムハンマド **ﷺ** のことである。ムハンマド **ﷺ** はイエスよりもモーゼに似ている。

またヨハネの福音書に、ユダヤ人が三つの際だった預言の実現を待っていることが書かれている。第一はキリストの出現である。次にエリヤの到来である。そして預言者の到来である。それはバプテスマのヨハネに向けられたこの三つの質問から明らかである。「さてこれはヨハネの証言であった。エルサレムのユダヤ人が聖職者とレビ人を送り、彼が誰であるかを尋ねさせた。彼が告白できなかったのではない。

彼は自分がキリストではないとはっきり告白した。かれらは「あなたは一体誰なのですか」と尋ねた。「あなたはエリヤですか。」彼は「いいえ、そうではありません」と答えた。「あなたは預言者ですか」と尋ねると、彼は「違います」と答えた。(ヨハネの福音書 1:19-21) 聖書を照らし合わせてみると、「預言者」という言葉はヨハネ書 1:21 に出てくる。これらの言葉は申命記 18:15 と 18:18 の預言のことを指している。<sup>43</sup> このことからイエス・キリストは申命記 18:18 に出てくる預言者でない結論付けられる。

## 2) イスラエル人の兄弟

アブラハムには二人の息子イシュマエルとイサクがいた(創世記 21)。イシュマエルはアラブ国家の始祖となり、イサクはユダヤ国家の始祖となった。ここで言われている預言者はユダヤ人の間から出てくるのではなく、その兄弟すなわちイシュマエル人出身のはずである。イシュマエル人の子孫であるムハンマド ﷺこそ預言者である。

またイザヤ書 42:1-13 では、神のしもべ、法をもたらす神の「選ばれた者」「使徒」について語っている。「彼は地上に正義を確立するまで、たじろぐことなく失望することもない。鳥々は彼の法の中に希望を持つ。」(イザヤ書 42:4) 第 11 節では、待ち望まれていた者をケダルの子孫と結び付けている。ケダルとは誰なのか。創世記 25:13 によると、ケダルはイシュマエルの次男であり、預言者ムハンマド ﷺ の祖先である。

## 3) 神は御言葉をこの預言者に語らせる

神の御言葉(聖クルアーン)は事実ムハンマド ﷺ の口から出てきた。神は天使ガブリエルを送り、ムハンマド ﷺ に

---

<sup>43</sup> The NIV Study Bible, New International Version [NIV 研究聖書・新国際版] の 1:21 節、1594 頁の傍注を参照。

神の御言葉(聖クルアーン)を教え、彼が聞いたものをそのまま人びとに語るように命じた。だからこそこの御言葉は彼の言葉ではない。それは彼自身の考えから生まれたものではなく、天使ガブリエルが彼に語らせたのである。ムハンマド **ﷺ** の生存中に、彼の監督のもとで、教友たちがこの御言葉を暗唱し、記録した。

また **申命記**の預言は、この預言者が神の御名において御言葉を語ると述べている。聖クルアーンを見ると、第9章を除く全ての章が「慈悲あまねく慈悲深い神の御名において」という句で始まっている。

他の指摘(**申命記**の預言以外で)として、**イザヤ書**はケダルと関係する預言者を、主を讃える新しい歌(新しい言語での聖典)と結びつけている(**イザヤ書 42:10-11**)。これは**イザヤ書**の預言でより明確に述べられている。「そして別の言葉で彼は人びとに語るであろう」(**イザヤ書 28:11 KJV**)。他に関連する点として、クルアーンは23年間にわたって啓示されたことである。同じことを語っている**イザヤ書 28**と比較すると興味深い。「というのも、行いつづけ、決まりをもたらし続け、ここにもあそこにも」(**イザヤ書 28:10**)。

**申命記 18**の預言で神が述べられたことに注目するべきである。「預言者がわれの名で話すわれの言葉を聞かないものは、われが呼びつけ責任を取らせる。」(**申命記 18:19**)。すなわち、聖書を信じる者は誰でもこの預言者が言うことを信じなければならない。そしてこの預言者とは預言者ムハンマド **ﷺ** である。

## (4) 未来の出来事を予言し それが本当になったクルアーンの節

クルアーンで予言された出来事の一例は、ローマ人がペル

シヤ人に敗北してから3～9年以内にローマ人がペルシヤ人に勝利したことである。神はクルアーンの中で仰せられた。

◀ ローマの民は（アラビア半島から）近接する地において打ち負かされた。だがかれらは敗北の後 ベツダ(3～9)年の間に勝利するであろう.... ▶ (クルアーン 30:2-4)

この戦争について歴史が教えてくれることを見るとよい。*History of the Byzantine State* [ビザンチン帝国の歴史]という題の著書によると、ローマ軍が613年、アンティキオの地で手痛い敗北を味わい、その結果ペルシヤ人は全ての戦線で迅速に進軍した。<sup>44</sup> 当時はローマ人がペルシヤ人に敗北するなど考えられないことであったが、クルアーンはローマ人が3～9年の間に勝利すると予言している。ローマ人が敗北した後9年経った622年、ローマ軍とペルシヤ軍の両軍はアルメニアの地で対戦し、その結果、ローマ軍が613年に敗北して以来初めて、ペルシヤ軍に対して圧倒的な勝利を収めた。<sup>45</sup> 神がクルアーンで述べられたように、予言は現実になった。

他にもクルアーンの節や預言者ムハンマド ﷺ の言葉で、将来を予言し後に現実になったものが多い。

## (5) 預言者ムハンマド ﷺ が行った奇跡

預言者ムハンマド ﷺ は神の許しを得て多くの奇跡を行

---

<sup>44</sup> *History of the Byzantine State* [ビザンチン帝国の歴史]、オストロゴルスキ (Ostrogorsky)、95頁。

<sup>45</sup> *History of the Byzantine State* [ビザンチン帝国の歴史]、オストロゴルスキ (Ostrogorsky)、100-101頁および *History of Persia* [ペルシヤの歴史]、サイクス (Sykes)、第1巻483-484頁。また *The New Encyclopaedia Britannica* [新ブリタニカ百科事典]、マイクロパエディア (Micropaedia) 第4巻、1036頁。

った。これらの奇跡は多くの人が証言している。その例が以下に挙げられている。

- ◇ メッカの不信心者が預言者ムハンマド ﷺ に奇跡を見せるように言うと、彼は月が裂けるのを見せた。<sup>46</sup>
- ◇ 他の奇跡として、ムハンマド ﷺ の教友たちが喉が渇き、容器の中に僅かな水しかなかったときに、彼の指から水が流れた。教友たちは彼のところに来て、容器の中に僅かしか水が残っていないため、礼拝の清めの水も飲み水もないと訴えた。そこでムハンマド ﷺ は容器の中に手を入れると、彼の指の間から水があふれ出た。それから人びとはその水を飲んで、清めをした。そこには 1500 人の教友がいた。<sup>47</sup>

他にも彼が行った奇跡や彼の身に起こった奇跡が多くある。

## (6)ムハンマド ﷺ の簡素な生活

ムハンマド ﷺ が預言者としての使命を受ける前と後の生活を比べてみると、ムハンマド ﷺ が物質的な利益、尊大さ、威光、権力を求めて預言を主張するニセの預言者であるとは、到底考えられない。

ムハンマド ﷺ が預言者としての使命を始める以前は、経済的に困っていなかった。商人として成功し、評判のよかったムハンマド ﷺ は十分満足のいく稼ぎを得ていたのである。預言者としての使命を受けた後、それがゆえに物質的

---

<sup>46</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーヒ・アルブハリ] #3637 及び *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2802 の伝承。

<sup>47</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #3576 及び *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #1856 の伝承。

にも困るようになった。具体的な例として、彼の生活について以下の伝承がある。

- ▶ ムハンマド ﷺ の妻であるアイシャによると、「私の甥よ、2ヶ月間で3回目の新月を迎えましたが、預言者 ﷺ の家ではその間一度も（食事を準備するための）火を焚いていません。」甥が尋ねた。「叔母さん、何を食べているのですか。」彼女は答えた。「二つの黒いもの、ナツメと水ですが、預言者 ﷺ にはアンサールの隣人がいて、雌の乳ラクダを持っているので、そのミルクを預言者 ﷺ に届けてくれるのです。」<sup>48</sup>
- ▶ ムハンマド ﷺ の教友であるサーレ・イブン・サードが言うには、「神の預言者 ﷺ は、神が彼を（預言者に）命じてから亡くなるまで、きめの細かい小麦粉で作ったパンを一度も食べなかった。」<sup>49</sup>
- ▶ ムハンマド ﷺ の妻アイシャによると、預言者 ﷺ が寝ていたマットレスは、ナツメの木の繊維を皮に詰めたものであった。」<sup>50</sup>
- ▶ ムハンマド ﷺ の教友であったアムル・イブン・アルハレスによると、預言者 ﷺ が亡くなった時、遺産はなく、唯一乗物用の白いラバと武器、そして慈善のために残した僅かの土地だけであった。<sup>51</sup>

ムハンマド ﷺ はムスリムの宝庫が彼の掌中にあったにもかかわらず、厳しい生活を送った。彼がイスラームを広めて

---

<sup>48</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーヒ・ムスリム] #2972 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーヒ・アルブハリ] #2567 の伝承。

<sup>49</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーヒ・アルブハリ] #5413 及び *Al-Tirmizi* [アッティルミージ] #2364 の伝承。

<sup>50</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーヒ・ムスリム] #2082 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーヒ・アルブハリ] #6456 の伝承。

<sup>51</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーヒ・アルブハリ] #2739 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #17990 の伝承

から 18 年後にはムスリムは勝利を収め、彼が亡くなる前にはアラビア半島の大部分はムスリムが支配していた。

ムハンマド ﷺ が地位、尊大さ、権力を得るために預言者であることを主張したと考えられるだろうか。地位や権力を享受する欲望は通常、美食、華やかな衣服、豪勢な宮殿、色とりどりの護衛、疑う余地のない権威がつきものである。このような特徴がムハンマド ﷺ に当てはまるだろうか。彼の以下に示される人生を垣間見ること、この疑問に答えられるだろう。

預言者、教師、政治家、判事としての責任があるにもかかわらず、ムハンマド ﷺ は山羊のミルクを絞り、<sup>52</sup> 服を繕い、靴を修繕し、<sup>53</sup> 家事を手伝い、<sup>54</sup> 貧しい病人を見舞った。<sup>55</sup> また教友を助けるため、土を掘って塹壕を作った。<sup>56</sup> 彼の人生は驚くほど模範的で、質素かつ謙虚であった。

ムハンマド ﷺ の教友たちは驚嘆するほど、彼を愛し、尊敬し、信頼した。それでも神性は神にのみ向けるべきであり、彼個人に向けるべきでないことを強調しつづけた。ムハンマド ﷺ の教友であったアナスによると、彼らは預言者ムハンマド ﷺ を誰よりも愛したが、彼が人々のところにやっても人々が彼のために立ち上がることはなかった。それは他の偉大な人物に対して人びとが行うように、彼のために人々が立ち上がるのを嫌がったからである。<sup>57</sup>

<sup>52</sup> *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #25662.

<sup>53</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーヒ・アルブハリ] #676 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #25517 の伝承

<sup>54</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーヒ・アルブハリ] #676 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #23706 の伝承

<sup>55</sup> *Mowatta Malek* [ムワッタ・マーレク] #531 の伝承。

<sup>56</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーヒ・アルブハリ] #3034 及び *Saheeh Muslim* [サヒーヒ・ムスリム] #1803 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #18017 の伝承。

<sup>57</sup> *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #12117 及び *Al-Tirmizi* [ア

イスラームの成功など思いもよらない時代、拷問を受け、痛めつけられ、ムハンマド **ﷺ** と信者たちが迫害される長年の苦しい時代がはじまったとき、彼は興味深い申し出を受け取った。異教徒の指導者オトバの特使がやってきて次のように言った。「..もしお金をお望みならば、あなたが誰よりも大金持ちになるだけの資金を差し上げましょう。支配力をお望みならば、あなたを我々の指導者にして、全てあなたの許可を得てから決めることにしましょう。王国をお望みならば、我々の王位を授けましょう。」この申し出に対する見返りとしてムハンマド **ﷺ** が断念することは、人びとをイスラームに招くことであり、如何なる同位者を配することなく神だけを拝むことである。このような申し出は世俗的な利益を求める者ならば惹かれるはずであろう。この申し出がなされた時、ムハンマド **ﷺ** は躊躇したのだろうか。彼はもっと良い申し出を待つための交渉戦略として、この申し出を断ったのだろうか。彼は次のように答えた。{慈愛あまねく慈悲深き神の御名において、} と言い、オタバにクルアーン (41:1-38) を唱えた。<sup>58</sup> その一部は次のとおりである。

◀ 慈悲あまねく慈愛深き御方 (神) からの啓示である。詳細に解明された啓典。理解ある民へのアラビア語のクルアーンで、吉報と警告を与える。だがかれらの多くは、背き去って聞こうとはしない。 ▶ (クルアーン 41:2-4)

別の機会に彼の叔父がイスラームの布教を断念するように懇願すると、ムハンマド **ﷺ** はきっぱりと、そして誠実に答えた。{叔父さんよ、神の御名に誓って申しませう。そのこと (イスラームの布教) を止める代わりに、私の右手に太陽を、そして左手に月を与えてくれようとも、神がイスラ

---

ッティルミージ] #2754 の伝承。

<sup>58</sup> *Al-Serah Al-Nabaweyyah* [アッセーラ・アルナバウィヤ]、イブン・ヘシャム (Ibn Hesham)、第1巻、293-294頁

ームに勝利を与えるか私が身を捧げるまで、決して断念することはありません。 }<sup>59</sup>

ムハンマド ﷺ と信者たちは13年間の迫害に苦しんだだけでなく、不信心者たちはムハンマド ﷺ を何度も暗殺しようとした。ある時には、持上げられないような巨石を彼の頭に落として殺そうとした。<sup>60</sup> また別の機会には、彼の食物に毒を入れて殺そうとした。<sup>61</sup> たとえ敵対者に対して完全に勝利したとしても、これほどの苦しみを味わい犠牲を払った人生を正当化できるだろうか。彼は最も輝かしい勝利の時さえ、成功が唯一神のおかげであり、自分の能力ではないと主張したように、彼の控えめで謙虚な態度をどのように説明できるだろうか。これが権力に飢えた自己中心的な人物と言えるであろうか。

## (7) イスラームの驚異的な広がり

本章の終わりに、イスラームの真理の重要な印を指摘することが適切であろう。イスラームは、米国そして世界中で最も急速に広がっている宗教である。それについて以下のような現象が見られる。

- 「イスラームは米国で最も急速に広がっている宗教である。多くの米国民にとって安定への導きと支えである…」ヒラリー・ロドマン・クリントン(Hillary Rodham Clinton)、*Los Angeles Times* [ロサンゼルス・タイムズ] )。 <sup>62</sup>

---

<sup>59</sup> *Al-Serah Al-Nabaweyyah* [アッサーラ・アルナバウィヤ]、イブン・ヘシャム (Ibn Hesham)、第 1 巻、265-266 頁

<sup>60</sup> *Al-Serah Al-Nabaweyyah* [アッサーラ・アルナバウィヤ]、イブン・ヘシャム (Ibn Hesham)、第 1 巻、298-299 頁

<sup>61</sup> *Al-Daremey* [アッダレミー] #68 及び *Abu-Dawood* [アブダワード] #4510 の伝承。

<sup>62</sup> ラリー・B.ステイマー(Larry B. Stammer)、タイムの宗教ライター、

- ▶ 「ムスリムは世界中で最も急速に広がっているグループである…」(人口統計局、 *USA Today* [今日の米国])。<sup>63</sup>
- ▶ 「…イスラームはこの国で最も急速に広がっている宗教である。」ジェラルディン・バウム (Geraldine Baum); *Newsday* [ニュースデェイ] の宗教ライター (*Newsday*)。<sup>64</sup>
- ▶ 「イスラームは米国で最も急速に広がっている宗教である。 …」アリ.L. ゴールドマン (Ari L. Goldmn) *New York Times* [ニューヨークタイムズ] )。<sup>65</sup>

この現象は、イスラームが神から下された真の宗教であることを示している。多くのアメリカ人や各国の人びとが改宗しているが、当然、前もって入念に検討し深く考慮した後で、イスラームが真理であると確信したに違いない。科学者、教授、哲学者、ジャーナリスト、政治家、俳優、スポーツ選手などがいる。

この章では、クルアーンが神の御言葉であり、ムハンマド  が神から送られた真の預言者であること、そしてイスラームが神から送られた真の宗教であることを信じるための証しの一部を取り上げているに過ぎない。

---

"First Lady Breaks Ground With Muslims" [大統領夫人がムスリムと開拓する]、*Los Angeles Times*[ロサンジェルス・タイムズ]、ホームエディション、メトロセクション・パート 1996年3月31日 3頁。

<sup>63</sup> ティモシー・ケニー (Timothy Kenny)、"Elsewhere in the World" [世界中いたるところで] *USA Today*[USA トゥーデイ]、最終版、ニュースセクション、1989年2月17日 4A頁。

<sup>64</sup> ジェラルディン・バウム (Geraldine Baum) "For Love of Allah" [アッラーを愛するがゆえに] *Newsday*[ニューズディ] Nassau and Suffolk(ナッサウ・サッフオーク) 版第II部、1989年3月7日、4頁。

<sup>65</sup> アリ.L. ゴールドマン (Ari L. Goldman)、"Mainstream Islam Rapidly Embraced By Black Americans" [正統派イスラームがアメリカの黒人の間で入信が広がっている] *New York Times*[ニューヨーク・タイムズ]、レート・シティー・最終版、1989年2月21日 1頁。

## 第 2 章

# イスラームの恩恵

イスラームは個人と社会の双方に多くの恩恵を与える。  
本章では、イスラームが個人に与える恩恵を取り上げている。

### (1) 永遠の楽園への扉

神はクルアーンの中で次のように仰せられた。

﴿ (ムハンマドよ) 信仰して善行に勤しむ者たちには、かれらのために、川が下を流れる楽園についての吉報を伝えなさい .... ﴾

(クルアーン 2:25)

神はまた次のように仰せられた。

﴿ あなたがたは主の寛容を請うために、相競って努力しなさい。それは天地の広さほどの広大な楽園で、<sup>アッラー</sup>神と使徒を信じるもののために準備されている.... ﴾ (クルアーン 57:21)

預言者ムハンマド ﷺ の教えによると、天国の住民の間で最下位の者たちは、現世で好むものの 10 倍を得て、<sup>66</sup> そして自分の望むものがなんであれ、その 10 倍も得る。<sup>67</sup> ま

<sup>66</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #186 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #6571 の伝承。

<sup>67</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #188 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #10832 の伝承。

た預言者 **葉** は申された。{天国では足と同じ大きさの空間が現世とその中にあるものよりもっと良い。}<sup>68</sup> 彼はまた次のように申された。{天国には人間が見たことも聞いたこともない、思いもつかないものがある。}<sup>69</sup> また彼によると、{現世で最も惨めな人間で天国に向けられた者が、天国に入ると、尋ねられる。『アダムの子孫よ、今まで惨めな思いをしたことがあるのか。辛いことを経験したことがあるのか。』すると彼は、『主よ、惨めな思いも辛いことも味わったことはありません。』と答える。}<sup>70</sup>

天国に入ると、非常に幸せな生活を送り、病や苦しみ、悲しみ、死に煩わされることはなく、そこで永遠に暮らしつづける。神はクルアーンの中で仰せられた。

◀ だが信仰して善い行いに励む者には、われは川が流れる楽園に入らせ、永遠にその中に住まわせよう.... ▶ (クルアーン 4:57)

## (2)地獄からの救い

神はクルアーンの中で仰せられた。

◀ 信仰を拒否する不信心者として死ぬ者は、たとえ大地に満ちるほどの黄金でその罪を償おうとしても、決して受け入れられないであろう。かれらには痛ましい懲罰があり、助ける者もない。 ▶ (クルアーン 3:91)

---

<sup>68</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #6568 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #13368 の伝承。

<sup>69</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2825 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #8609 の伝承。

<sup>70</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2807 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #12699 の伝承。

このように現世とは、天国に入ることが認められ、地獄を逃れる唯一のチャンスである。信仰することなく死ねば、この世に戻ってきてもう一度信じ直すことはできない。神はクルアーンの中で、最後の審判の日に不信心者がどうなるかを述べている。

◀ あなたがたがもし、かれらが火獄の前に立たされる姿を見たらどうであろう。その時かれらは言う。『ああ、わたしたちがもし（現世に）送り帰されるならば、決して主の御言葉を拒否しないで、必ずや信仰するでしょうに。』 ▶

（クルアーン 6:27）

しかし誰も2度目のチャンスをもらうことはない。

預言者ムハンマド ﷺ は申された。{最後の審判の日に地獄に行くことになっている、現世で最も幸せな人間が一旦地獄に落とされ、『アダムの子孫よ。今まで恩恵に与ったことがあるか。』と聞かれると、『いいえ、主よ、何も授かっておりません。』と答える。}<sup>71</sup>

---

<sup>71</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2807 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #12699 の伝承。

### (3) 真の幸福と心の平安



真の幸福と平安は この世の創造者・維持者の命令に委ねることである。神はクルアーンで仰せられた。

◀ <sup>アッラー</sup> 本当に、神を唱念し、心の安らぎを得る。▶ (クルアーン 13:28)

一方で、クルアーンから背き去ったものは現世で苦難を味わう。神は仰せられた。

◀ だが誰でも、クルアーン（神の訓戒）に背を向ける者は、<sup>72</sup> 生活が窮屈になり、また審判の日には盲目で甦らされるであろう。▶ (クルアーン 20:124)

人びとがお金で買える物質的な快樂を楽しむ一方で、自殺する人がいる。たとえば、キャット・ステーブンス（ヨセフ・イスラームがムスリムになる前の名前）は、時には一晩で15万ドル以上を稼ぐ有名なポップシンガーであった。しかし彼はイスラームに改宗してから、本当の幸せと心の安

<sup>72</sup> クルアーンを信じず、その命令にも従わないこと。

らぎを得るようになった。それは以前の物質的な成功の中で決して見出すことはできなかったものである。<sup>73</sup>

#### (4) 過去の罪はすべて赦される

イスラームに改宗すると、神はその人の過去の罪や悪行をすべてお赦しになる。 アムルという名の男が預言者ムハンマド ﷺ のところにやって来て「右手を出してください。あなたへの忠誠を誓いましょう。」と言った。 預言者 ﷺ が右手を伸ばすと、アムルは手を引っ込めた。 預言者 ﷺ が「アムル、一体どうしたのだ」と尋ねると、彼は答えた。

「一つ条件を出すつもりです。」 預言者 ﷺ が尋ねた。 {どんな条件を出すつもりなのか。} アムルは、「神が私の罪を赦すことです。」 預言者 ﷺ は申された。 {イスラームに改宗すると過去の罪がすべて消されるのを知らないのか。} <sup>74</sup>

人はイスラームに改宗すると、善行と悪行によって報われることを預言者 ﷺ が教えている。 {至高かつ至大なるあなたの主は、最も慈悲深い。 善い行いをしようと思ったのにしなかった場合、その善い行いは記録される。 そしてそれを実行すれば、(善行の報奨は) 10 倍から 700 倍またはそれ以上が記録される。 誰かが悪いことをやろうとして、しなかった場合、善行として記録される。 そして悪い行いをしてしまった場合、それは彼に対して記録され、神はそれを消し去る。} <sup>75</sup>

<sup>73</sup> キャット・スティーブンス(Cat Steven)(ヨセフ・イスラーム: Yusr Islam) に質問のある方はこちらまで: 2 Digswell Street, London N7 8JX, United Kingdom

<sup>74</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #121 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #17357 の伝承。

<sup>75</sup> *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #2515 及び *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #131 の伝承。

## 第3章

# イスラームの一般情報

## イスラームとは

イスラームの宗教は、神が最後の預言者ムハンマド  に啓示した教えを受け入れ、従うことである。

## イスラームの信仰の基本

### 1) 神を信じること

ムスリムは、唯一絶対で無比の神を信じる。神は息子も配偶者も持たず、かれの外に崇められる権利を持つものはない。かれこそが本当の神であり、外の神格はすべて偽物である。かれは最も格調高い御名と崇高で完璧な性質を持っておられる。誰も神の神聖や性格を共有するものはいない。クルアーンの中で、神は自らについて述べておられる。

 言ってやるがよい。『かれは <sup>アッラー</sup>神、唯一なる御方である。すべての創造物は、<sup>アッラー</sup>神によって存在する。お産みなさらないし、御産れになられたのではない。かれに比べ得る、何もものない。』  (クルアーン 112:1-4)

神の外に、礼拝、祈願、崇拝の対象となる権限を持つものはいない。

神だけが全能者、創造者、統治者、そして全宇宙の万物の守護者である。かれはあらゆることを管理される。かれはかれの創造物から何も必要としない。かれはあらゆることを聞き、見て、ご存知である。かれの叡智は完璧であり、公のことも秘められたことも、すべてに通曉される。か



アラビア書道で書かれたクルアーン  
112章

れは過去に起こったことも、これから起こることも、それがどのように起こるかもすべてご存知である。世界中のあらゆる出来事は、すべてかれの意志による。かれが望むことはすべてかなえられ、望まれないことは何も実現しない。かれの御心はあらゆる創造物の意志を凌駕する。かれは万物を支配し、全能であられる。かれは慈愛あまねく、慈悲深い御方であられる。預言者ムハンマド ﷺ の言葉によると、神の慈愛は母親の子に対する慈愛よりももっと深い。<sup>76</sup> 神は不正や圧制からかけ離れている。神は行いと命令のすべてにおいて英明であられる。神に祈願したい時は、神との間に仲介者を置くことなく、神に直接呼びかけることができる。

神はイエスではなく、イエスは神ではない。<sup>77</sup> イエス自らもこのことを否定している。神はクルアーンで仰せられた。

<sup>76</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2754 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #5999 の伝承。

<sup>77</sup> 1984年6月25日ロンドンのアソーシエイティッド・プレス の報告によると、テレビ番組で行われた調査でイギリス国教会の司教の大多数は、キリスト教徒はイエスキリストが神であったと信じる義務はないと述べている。報告書によるとさらに、31人の司教のうち19人はイエスを「神の最高の代理人」とであると見なすだけで十分であると述べている。世論調査はロンドン・ウィークエンド・テレビの毎週放送される宗教番組「クレド」で行われた。

『<sup>アッラー</sup>神こそは、マルヤム（マリア）の<sup>マスイーフ</sup>子メシア（イエス）である』と言うものは、確かに不信心者である。メシアは言ったのである。『イスラエルの子孫よ、私の主であり、あなたがたの主である<sup>アッラー</sup>神を崇めなさい。』凡そ<sup>アッラー</sup>神に何もかのかを配する者には、<sup>アッラー</sup>神は樂園に入ることを禁じられ、彼等の住いは業火である。不義を行う者には、<sup>78</sup> 援助者はないのである。 (クルアーン 5:72)

神は三位一体ではない。 神はクルアーンの中で仰せられた。

『<sup>アッラー</sup>神は三位の一つである。』と言うものは、不信心者である。唯一の神の外に神はないのである。 もしかれらがその言葉を止めないなら、かれら不信心者には、必ず痛ましい懲罰が下るであろう。彼らは何故、悔悟して<sup>アッラー</sup>神に御赦しを求めないのか。誠に<sup>アッラー</sup>神は寛容にして慈悲深くあられる。 マルヤム(マリア)の<sup>マスイーフ</sup>子メシア（イエス）は一人の使徒に過ぎない... (クルアーン 5:73-75)

イスラームは、神が創造の7日目に休息したこと、神が天使の一人と組み合ったこと、神が人間に嫉妬して企むこと、神が人間の形をしていることをすべて否定する。 またイスラームは神が人間と同じ特徴を持っていることを否定する。これらはすべて神の冒流である。 神は至高であられる。かれは全てにおいて完璧である。 かれは疲れることがなく、まどろむことも眠ることもない。

アラビア語の <sup>アッラー</sup>アッラー は神（全宇宙を創造した唯一本当の神）を指す。 この <sup>アッラー</sup>アッラー という言葉は、神の名前であり、アラブではムスリムとキリスト教徒のいずれであれ、アラビア語を話す人々が使っている言葉である。 この言葉は、唯一本当の神の外に使うことはできない。 アラビア語の <sup>ア</sup>

<sup>78</sup> 不義者は多神教徒を含む。

ッラーという言葉はクルアーンの中で 2700 回も使われている。 アラビア語と近い言語で、イエスが常々使っていた言葉であるアラム語でも、<sup>79</sup> 神はアッラーと呼ばれている。

## 2) 天使を信じること

ムスリムは、名誉ある創造物である天使が実在することを信じている。 天使は神だけを崇め、かれに信服し、かれの命令にだけ従う。 天使の一人であるガブリエルが、ムハンマド ﷺ にクルアーンをもたらした。

## 3) 神の啓典を信じること

ムスリムは、神が使徒に啓示した啓典を人類への証しと導きとして信じる。 その中でもクルアーンは神が預言者ムハンマド ﷺ に啓示した聖典である。 神はクルアーンが無疵であるように、あらゆる改ざんや歪曲から守っている。 神は仰せられた。

﴿ 本当にわれこそは、クルアーンを下し、必ずそれを（改ざんから）守護するのである。 ﴾ (クルアーン 15:9)

## 4) 神の預言者と使徒を信じること

ムスリムは、アダムから始まり、ノア、アブラハム、イシユマエル、イサク、ヤコブ、モーゼ、イエス（かれらに平安あれ）を含む神の預言者と使徒を信じている。 そして、神の最後のメッセージ、永遠のメッセージを再確認するものが預言者ムハンマド ﷺ に啓示された。 神が仰せられたよう

---

<sup>79</sup> *NIV Compact Dictionary of the Bible* [NIV 聖書コンパクト辞書] Douglas(ダグラス) 42 頁。

に、ムスリムはムハンマド ﷺ が神から送られた最後の預言者であると信じている。

◀ ムハンマドは、あなたがたの誰の父親でもない。しかし彼はアッラーの使徒であり、預言者たちの封緘（ふういん）である... ▶ (クルアーン 33:40)

ムスリムは、預言者と使徒がすべて創造された人間であり、誰も神格を持っていないと信じている。

## 5) 審判の日を信じること

ムスリムは、すべての人々が信仰と行いによって神の審判を受けるために復活される審判の日（復活の日）を信じている。

## 6) アルカダル[宿命]を信じること

ムスリムは アルカダル [宿命] を信じる。しかしムスリムがこれを信じるからといって、人間が自由意志を持たないわけではない。むしろ、ムスリムは神が人間に自由意志を与えたことを信じている。すなわち、人間は善悪を選ぶことができ、その選択に責任を持つのである。

宿命を信じることには、4つのことが含まれる。1) 神は全知である。神は過去も未来もすべてご存知である。2) 神は過去に起こったこともこれから起こることもすべて記録されている。3) 神が望まれることは起こり、神が望まれないことは実際に起こらない。4) 神は万物の創造者である。

## クルアーンの外に 聖典はあるだろうか

ある。スンナ（預言者ムハンマド ﷺ の言行、認めたこと）はイスラームの第二の出典である。スンナはハディースでできているが、これは預言者ムハンマド ﷺ の教友が彼の言行及び認めたことを正確に記録したものである。スンナを信じることはイスラームの信仰の基本である。

### 預言者ムハンマド ﷺ の言葉

- {信者たちは、他人への愛、慈悲、親切心において一つの体のようなものである。一箇所でも具合が悪いと、体全体が眠れず熱に冒される。} <sup>80</sup>
- {信仰において最も完璧な信者とは、道徳心の最も優れた者である。その中で最も優れた者は妻を大切にする者である。} <sup>81</sup>
- {同胞を自分と同じように愛せないうちは、本当の信者ではない。} <sup>82</sup>
- {慈悲深いものは最も慈悲深い神から慈悲を見せられている。地上のものに慈悲を示しなさい。すると神があなたに慈悲を示すであろう。} <sup>83</sup>

---

<sup>80</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2586 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #6011 の伝承。

<sup>81</sup> *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #7354 及び *Al-Tirmizi* [アッティルミージ] #1162 の伝承。

<sup>82</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #13 及び *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #45 の伝承。

<sup>83</sup> *Al-Tirmizi* [アッティルミージ] #1924 及び *Abu-Dawood* [アブダウード] #4941 の伝承。

- {同胞に微笑むことは思いやりである ... }<sup>84</sup>
- {善き言葉は善行である。 }<sup>85</sup>
- {神と審判の日を信じる者は、隣人に親切にしなければならない。 }<sup>86</sup>
- {神はあなたを外見や財産から判断するのではない。あなたの心と行いを見るのである。 }<sup>87</sup>
- {働く者には汗の乾かないうちに賃金を払いなさい。 }<sup>88</sup>
- {道沿いに歩いていた男は 非常に喉が渇いていた。 井戸に着くと、下に降りて水を一杯飲んで、上がってきた。 すると犬が舌を出して、渇きを癒すために泥を舐めていた。 男は「この犬も喉が渇いているに違いない」と言った。 そこで彼はもう一度井戸に降りて、靴の中に水を入れて、犬に飲ませてやった。 神は彼を誉めて、かれの罪を赦した。 } 預言者 ﷺ は「神のみ使いよ、動物に親切にすることは報いられるのですか。」 と尋ねられた。 {あらゆる生き物や人間に対する親切心には報奨が与えられる。 }<sup>89</sup>

## イスラームにおける 審判の日とは

キリスト教徒と同じように、ムスリムは現世が永劫の世界に入るための試練であると信じている。 各人にとって、現

---

<sup>84</sup> *Al-Tirmizi* [アッティルミージ] #1956 の伝承。

<sup>85</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #1009 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #2989 の伝承。

<sup>86</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #48 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #6019 の伝承。

<sup>87</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2564 の伝承。

<sup>88</sup> *Ibn Majah* [イブン・マジャ] #2443 の伝承。

<sup>89</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2244 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #2466 の伝承。

世での生活は死後の世界のための試練の場である。全宇宙が破壊される日がやってくると、死者が神の審判を受けるために復活させられる。この日は永遠の生のはじまりになる。この日こそが最後の審判の日である。この日には、あらゆる人びとが信仰と行いによって神から報奨を受ける。「神の外に真の神はなく、ムハンマドは神の使徒（預言者）である」と信じて死んだ者はムスリムであり、その日から永遠に天国に入れられる。神は仰せられた。

◀ そして信仰して善行に勤しむ者は樂園の住民である。その中に永遠に住むのである。 ▶

(クルアーン 2:82)

しかし「神の外に真の神はなく、ムハンマドは神の使徒（預言者）である」ことを信じないで死んだ者は、ムスリムではない。彼らは永遠に樂園に入ることはできず、地獄に送られる。神は仰せられた。

◀ イスラーム以外の教えを追及するものは、決して受け入れられない。また来世においては、かれらは失敗者の類である。 ▶ (クルアーン 3:85)

また次のように仰せられた。

◀ 信仰を拒否する不信心者として死ぬ者は、たとえ大地に満ちるほどの黄金でその罪を償おうとも、決して受け入れられない。これらの者には痛ましい懲罰があり、助ける者もない。 ▶  
(クルアーン 3:91)

「イスラームはよい宗教だと思うが、イスラームに改宗すると、家族や友人や他人が私を迫害し、笑いものにするであろう。もしイスラームに改宗しないままでも、天国に入ることができるのだろうか。地獄から救われるのだろうか。」

その答えは神が上述の節で仰せられている。「イスラーム以外の宗教を追求する者は、決して受け入れられない。また来世においても失敗者の類である。」

預言者ムハンマド  が人びとにイスラームを布教するように命じられた後、神はイスラーム以外の宗教に固執することを認めない。神は我々の創造者であり、維持者であられる。かれはこの地上にあるものすべてを我々のために創られた。我々が手に入れる恩恵と善きことはすべて神のおかげである。そのため、神、預言者 、イスラームの宗教を信じようとしなないものは、来世で罰せられる。実際に、我々が創造された第一の目的は、神だけを崇め、かれに従うことである。神は聖クルアーンの中で仰せられた。(51:56)

この世での人生は非常に短い。審判の日、不信心者は現世での生活をたった1日か数時間のように思うであろうと、クルアーンに書かれている。

 かれ(神)は仰せられよう。「あなたがたは、地上に何年滞在していたのか。」かれらは申し上げよう。「私たちは一日か、一日の一部分を滞在していました....  (クルアーン 23:112-113)

するとかれは仰せられた。

 あなたがたは、われが(目的もなしに)戯れにあなたがたを創ったと思うのか。またあなたがたは(来世で)われに帰されないと思っているのか。アッラーは、尊く気高い、真実の王者である。崇められるべきものはかれの外にな  
い...  (クルアーン 23:115-116)

来世での生活こそが真の生活である。そこでの人生には魂も肉体も伴っている。

預言者ムハンマド ﷺ は現世と来世を比べて申された。  
{この世での価値を来世の価値と比べると、ちょうど指を海の中に入れてそれを取り出すようなものである。}<sup>90</sup> すなわち、来世の価値と現世での価値を比べると、まさに大海と数滴の水のようなものである。

## 人はどのようにして ムスリムになるのか

単純に言うと、ラーイラーハ・イッララー、ムハンマド・ラスールッラーと信じることによって、イスラームに改宗し、ムスリムになる。この言葉の意味は神（アッラー）の外に真の神はない、<sup>91</sup> そしてムハンマドは神の使徒（預言者）である。最初の部分「神の外に真の神はない」は崇められるべきものは神の外になく、神には配偶者も息子もないという意味である。ムスリムになるには、また次のことを受け入れなければならない。

- ▶ 聖クルアーンが神によって啓示された神の御言葉であると信じること。
- ▶ 神がクルアーンの中で約束しているように、審判の日（復活の日）は本当であり、その日が来ると信じること。
- ▶ イスラームを自分の宗教として受け入れること。
- ▶ 神の外に何も誰も崇めないこと。

預言者ムハンマド ﷺ は申された。{ある人が乗っていたラクダが荒野で食料と水を担いだまま逃げてしまい、それ

---

<sup>90</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2858 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #17560 の伝承。

<sup>91</sup> 既に述べたように、アラビア語の言葉アッラーは神（全宇宙を創造した唯一本当の神）を意味する。このアッラーという言葉は神の名前であり、アラビア語を話すアラブの間では、モスリムもキリスト教徒もこの言葉を使っている。

を取り戻せる希望が全くない場合に、神に向かって改悛すると神は誰よりも喜ばれる。その男はラクダを取り戻す望みを失い、木陰にやってきて死を待っていると、絶望の状態から、突然ラクダが目の前に現れた。かれは端綱を捕まえ、喜びのあまりに叫んだ。「神よ、あなたは私のしもべである。私はあなたの神である。」彼は喜びのあまりに間違いを犯してしまった。} <sup>92</sup>



「神の外に真の神はなく、ムハンマドは神の使徒(預言者)である」という言葉が入口に彫り込まれている。

## クルアーンとは

神の最後に啓示された御言葉であるクルアーンは、すべてのムスリムの信仰と実践の源である。それは人間に関するあらゆる物事を扱っている。叡智、教義、信仰、取引、法律などであるが、基本的なテーマは神と人間の関係である。同時に公正な社会、適切な人間の行動、平等な経済制度に関する指針

---

<sup>92</sup> *Saheeh Muslim*[サヒーフ・ムスリム] #2747 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #6309 の伝承。

と詳しい教えを与えている。

クルアーンが、ムハンマド ﷺ にアラビア語だけで啓示されたことは注目に値する。クルアーンを他の言語に訳したものがあがるが、それは本来のクルアーンではない。単にクルアーンの意味の解釈に過ぎない。クルアーンは啓示されたアラビア語で理解することが重要である。



## 預言者ムハンマド ﷺ とは誰か

ムハンマド ﷺ は 570 年にメッカで生まれた。彼が生まれる前に父親が亡くなり、母親も幼少期に亡くなったので、周りの人々から尊敬されていたクライシュ族の出身である叔父に育てられた。彼は読み書きを習わずに育ち、亡くなるまで文盲であった。彼が預言者としての使命を始める以前から、人びとは科学のことを知らず、たいいていの人びとは文盲であった。成長するにつれ、彼は正直で信頼でき、寛大で誠実であることが知られるようになった。彼は人々の信頼が篤かったので、「信頼できる人」と呼ばれるようになった。<sup>93</sup> ムハンマド ﷺ は非常に信仰心が強く、長年、社会の退廃と偶像崇拜を嫌っていた。

ムハンマド ﷺ は 40 歳の時、天使ガブリエルを通して神から最初の啓示を受けた。啓示は 23 年間続き、それらを集

<sup>93</sup> *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #15078.

大成したものがクルアーンと呼ばれている。

クルアーンを唱え、神が啓示した真実を布教し始めるや否や、彼と少人数の信者たちは不信心者から迫害を受けた。迫害があまりにも厳しくなったため、622年に神は移住するように命じた。メッカの北方420<sup>キロメートル</sup>の所にあるメディナへの移住が、ムスリム暦の初年となった。



メディナの預言者ムハンマド  モスク

数年後、ムハンマド  と信者たちはメッカに戻ることができたが、彼らは敵を赦した。63歳でムハンマド  が亡くなるまでに、アラビア半島の大部分がムスリムになり、彼の死後100年も経たない中に、イスラームは西はスペインまで、東は中国まで広がった。イスラームが急速かつ平和裏に広がった理由は、その教えが真実であり、慈善行為を尊重したからである。イスラームは、崇められるべき唯一の神への信仰を呼びかけている。

預言者ムハンマド  は正直で、正義感が強く、慈悲深く、哀れみ深く、信頼できる、勇敢な人間の完璧な模範である。彼は人間ではあるが、何一つ邪悪な性格を持っておらず、神のため、そして来世で神が与える報奨のためだけに働いた

のである。その上、彼はすべての行動や取引において、常に神を念頭に起き、神を畏れた。

## イスラームの広がりが科学の発展に どのような影響を及ぼしたのか

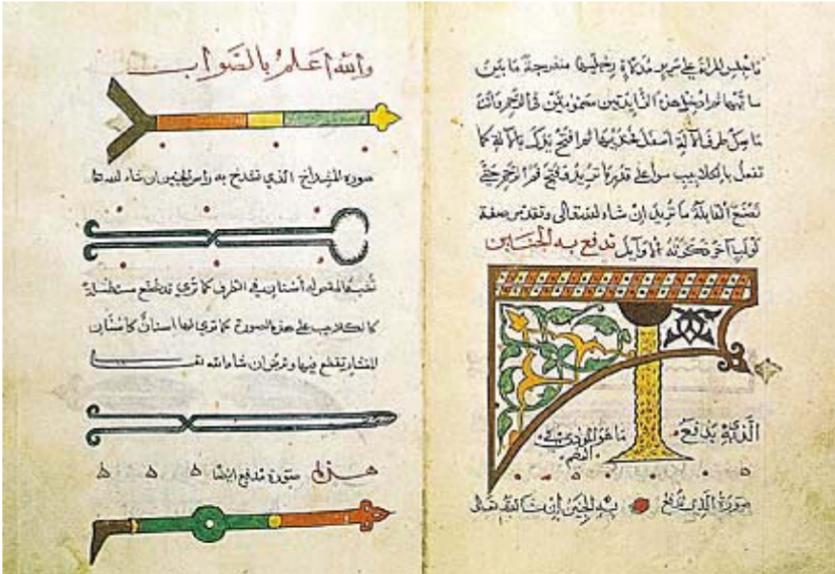


イスラームは人びとに知性と観察力を駆使するように教えている。イスラームが広がって数年後には、偉大な文明や大学が盛んになった。東洋思想と西洋思想の統合、新旧思想の統合が医学、数学、物理学、天文学、地

質学、建築、芸術、文学、歴史に偉大な進歩をもたらした。代数学、アラビア数字、(数学の発展に不可欠であった)ゼロの概念など多くの重要なシステムがムスリム世界から中世ヨーロッパに伝えられた。アストラーベ、クアドラント、詳細な航海図などヨーロッパの大陸発見を実現させるに至った機器はムスリムが開発したのである。

**アストラーベ:** 近代までヨーロッパで広く利用されていた最も重要な科学的器具。ムスリムの考案による。





ムスリムの医学者は外科手術に注目し、この古い写本に見られるように多くの外科用器具を開発した。

## ムスリムはイエスをどのように信じているのか

ムスリムはイエス（彼に平安あれ）を尊敬している。ムスリムは、神が人類に送った使徒の中で、イエスが最も偉大な使徒の一人であると見なしている。クルアーンは彼の処女受胎を認め、クルアーンの1章はマリアム章(マリア章)と呼ばれている。クルアーンはイエスの誕生を次のように描いている。

👉 天使たちがこういった時を（思え）。「マルヤム(マリア)よ、本当にアッラーは直接御自身の御言葉で、あなたに吉報を伝えられる。マルヤムの子、その名はマスィーフ・イーサー（メシア・イエス）、彼は現世でも来世でも高い榮譽を得、また（アッラーの）側近の一人になるであろう。彼は揺り籠の中でも、また成人してからも人びとに語り、正直者の一人であろう。」彼女は

言った。「主よ、誰も私に触れたことはありません。どうして私に子ができましようか。」かれは言った。「このように、アッラーはお望みのものを御創りになられる。」かれが一事を決められる。『有れ』と仰せになれば即ち有るのである。」 (クルアーン 3:45-47)

イエスはアダムが父親なしに生まれたように、神の命令によって奇跡的に生まれたのである。神は仰せられた。

✦ イーサーはアッラーの御許で、丁度アダムと同じである。かれは泥で彼（アダム）を創られ、それに「有れ」と仰せになると彼は人間として存在した。 (クルアーン 3:59)

イエスが預言者としての使命を果たす間に、多くの奇跡を起こした。神はイエスの言葉を伝えられる。

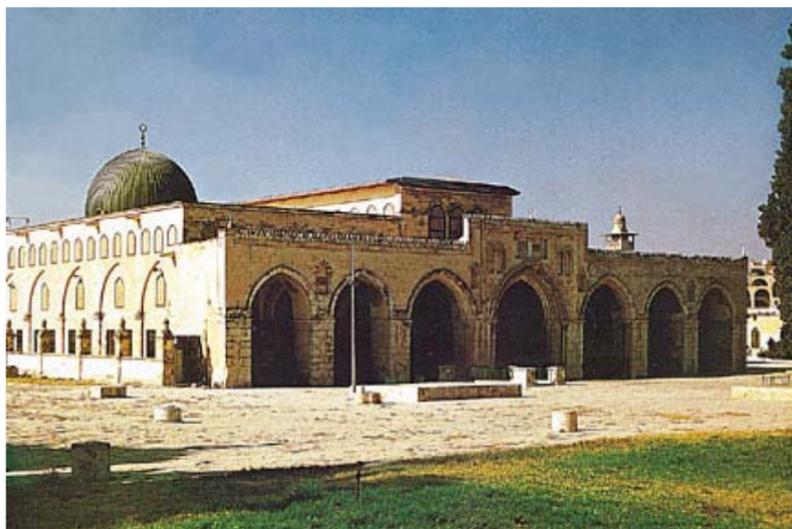
✦ 「私はあなたがたの主から、印をもたらされた。私はあなたがたのために、泥で鳥の形を造り、それに息を吹き込めば、アッラーのお許しによりそれは鳥になる。アッラーのお許しによって生まれつきの盲人やライ患者を治し、死者を生き返らせる。私はあなたがたが何を食べて何を蓄えているかを告げよう ....」 (クルアーン 3:49)

ムスリムはイエスが十字架にかけられていないと信じている。イエスの敵は彼を十字架にかけようとしたが、神が彼を救い、神の元に召し上げた。イエスの外見が他の男に似せられた。イエスの敵はこの男を捉え、彼をイエスと思い込んで、十字架にかけたのである。神は仰せられた。

✦ ... 「わたしたちはアッラーの使徒、マルヤムの子、マスィーフ、イーサーを殺したぞ。」と彼らは言った。だが彼らはイーサーを殺したのでも

なく、十字架にかけたのでもない。ただ彼の外見  
が別の男に与えられた(彼らはこの男を殺したの  
である)。... 🏹 (クルアーン 4:157)

ムハンマド  もイエスも、前の預言者達にもたらされ  
た、唯一の神に対する信仰の基本的な教義を変えるためにや  
ってきたのではない。むしろそれを確認し、回復するためにや  
ってきたのである。<sup>94</sup>



エルサレムのアクサモスク

---

<sup>94</sup> ムスリムは、神がインジールと呼ばれる聖典をイエスに啓示したことを信じている。その一部は、新約聖書の中でイエスに対する神の教えとして残っている。だからといってムスリムが今日の聖書を信じているという意味ではない。それは神によって啓示された原典でないからである。その内容は改ざん、追加、削除されてきた。聖書 [改定標準版] の改定を担当した委員会もこのことを認めている。この委員会は 32 人の学者による委員で構成されている。この委員会には、協力体制にある 50 人の諮問委員会による検討や助言が準備されていた。委員会は聖書 [改定標準版] の序文 (iv 頁) で、「ときには原文が時代の変遷に悩まされたことは明らかであるが、しかしいずれの版も十分修復されていない。原典の最も可能な復元に関して、優秀な学者の最善の判断に委ねるしかない。」委員会はまだ序文 (vii 頁) で、「古代の権威者による顕著な変更、追加、削除を示す注釈が加えられている(マタイ 9.34; マルコ 3.16; 7.4; ルカ 24.32, 51 等)と述べている。

## イスラームはテロリズムを どのように見なしているのか

慈悲の宗教であるイスラームはテロリズムを認めていない。神はクルアーンで仰せられた。

﴿アッラーは、宗教上のことであなたがたに戦いを仕掛けず、あなたがたを家から追放しなかった者たちに親切を尽くし、公正に待遇することを禁じられない。アッラーは公正な者をお好みになられる。﴾ (クルアーン 60:8)

預言者ムハンマド ﷺ は兵士達に子女を殺すことを禁じ、<sup>95</sup> 彼らに次のように忠告していた：{…裏切るな。やりすぎるな。生まれたばかりの赤子を殺すな。}<sup>96</sup> また次のようにも申された。{ムスリムと協定を結んだものを殺すものは誰でも、天国の香りを嗅ぐことはない。その香りは40年間も続くのである。}<sup>97</sup>

また預言者ムハンマド ﷺ は炎で罰することを禁じた。<sup>98</sup>

ある時彼は殺人を2番目の大罪に挙げ、<sup>99</sup> 次のように警告した。{審判の日に最初に裁かれるのは他人の血を流した人々である。}<sup>100</sup><sup>101</sup>

<sup>95</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #1744 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #3015 の伝承。

<sup>96</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #1731 及び *Al-Tirmizi* [アッティルミージ] #1408 の伝承。

<sup>97</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #3166 及び *Ibn Majah* [イブン・マジャー] #2686 の伝承。

<sup>98</sup> *Abu-Dawood* [アブ・ダウード] #2675 の伝承。

<sup>99</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #6871 及び *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #88 の伝承。

ムスリムは動物を手厚く扱うことが薦められており、傷つけることは禁じられている。預言者ムハンマド ﷺ は申された。{ある女性は猫を死ぬまで閉じ込めたために罰せられた。このため、彼女は地獄に送られることになった。彼女は猫を閉じ込め、食事も水も与えなかった。放し飼いにして外の虫を食べさせることもしなかったのである。} <sup>102</sup>

彼はまた、非常に喉の渴いた犬に水を飲ませた男が神に今までの罪を赦されたことを話された。預言者 ﷺ は尋ねられた。「神のみ使い様よ、動物に優しくすると報いられるのですか。」{あらゆる生き物や人間に親切にすると報いられます。}と答えられた。 <sup>103</sup>

さらに、動物を殺して食料にする場合、ムスリムは恐怖や苦しみをできるだけ少なくするように命じられている。預言者ムハンマド ﷺ は申された。{動物を屠殺するときは、最もよい方法でしなさい。ナイフを咥いで動物が苦しまないようにしなければならない。} <sup>104</sup>

このような教えやその他のイスラームの教えでは、無防備な市民の心に恐怖を与える行為や、ビルや建物の完全な破壊、無垢な人々や子供を爆撃したり傷つけることはすべて禁じており、イスラームとムスリムにとって、憎むべき行為である。ムスリムは平和、慈悲、寛容の宗教を信じており、大多数の人びとはムスリムと関連付けられている暴力行為とは何の関わりもない。もしムスリムがテロリズムの行為を犯すならば、

---

<sup>100</sup> ここでは、殺人と傷害を指す。

<sup>101</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #1678 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #6533 の伝承。

<sup>102</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2422 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #2365 の伝承。

<sup>103</sup> これは本章「預言者ムハンマド ﷺ の言葉」で詳しく述べられている。*Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2244 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ]、#2466 の伝承。

<sup>104</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #1955 及び *Al-Tirmizi* [アッティルミージ] #1409 の伝承。

この人物はイスラームの法を犯したことになる。

## イスラームにおける人権と正義

イスラームは個人に多くの人権を与えている。イスラームが保護する人権の幾つかが以下に挙げられている。

イスラーム国家における市民の生活と財産は、ムスリムであるか否かに関わらず、神聖なものと見なされている。イスラームは名誉を守る。そのため、イスラームでは他人を侮辱したり、揶揄することは認められない。預言者ムハンマド ﷺ は申された。{本当にあなたの血、財産、名誉は侵してはならない。}<sup>105</sup>

人種主義はイスラームでは認められない。クルアーンは次の条件で人間の平等を唱えている。

﴿人びとよ、われは一人の男と一人の女からあなたがたを創り、国家と部族に分けた。これはあなたがたを、お互いに知り合うようにさせるためである。アッラーの御許で最も貴い者は、あなたがたの中で最も主を畏れるものである。<sup>106</sup> 本当にアッラーは、全知にしてあらゆることに通曉なされる。﴾ (クルアーン 49:13)

イスラームは個人や国家が財産、権力、人種によって特別待遇を受けることを拒否している。神は人間を信仰と敬虔さによってのみ区別されるべく平等なものとして創造された。預言者ムハンマド ﷺ は申された。{人びとよ、あな

---

<sup>105</sup> *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・ブハリ] #1739 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #2037 の伝承。

<sup>106</sup> 敬虔な人は、あらゆる種類の罪を避けて、神が命じたよいことだけを行い、神を畏れ、神を敬愛する。

たがたの神は一つであり、あなたがたの祖先（アダム）は一つである。アラブ人が非アラブ人より優れているわけではなく、非アラブ人がアラブ人よりも優れているわけではない。黄色人種が黒人よりも優れているわけではなく、黒人が黄色人種よりもすぐれているわけではない。<sup>107</sup> 敬虔さだけが大切なのである。}<sup>108</sup>

今日の人類が直面している大きな問題は人種差別である。人類を月に送ることができるが、仲間を憎み争うことを止められないでいる。預言者ムハンマド ﷺ の時代から、イスラームは人種差別を終わらせる具体的な模範を示している。



毎年行われるメッカへの巡礼（ハッジ）では、世界中から約200万人のムスリムが集まっており、これこそあらゆる人種と国家を超えた真のイスラーム同胞愛を示している。

イスラームは正義の宗教である。神は仰せられた。

﴿ 誠にアッラーは、あなたがたに信託されたものを元の所有者に返還することを命じられた。またあなたがたが人々を裁くときに、公正に裁くことを命じられている... ﴾ (クルアーン 4:58)

<sup>107</sup> ここで預言者が述べた皮膚の色は譬えである。ここでの意味は、黒人、白人など皮膚の色で誰かが優れているのではないという意味である。

<sup>108</sup> *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #22978 の伝承。

そしてまた次のように仰せられた。

﴿...公正に行動しなさい。 本当にアッラーは公正な者を愛される。﴾ (クルアーン 49:9)

神が仰せられるように、我々は憎悪する相手に対しても公正でなければならない。

﴿...人びとを憎悪するあまりに、あなたがたは正義に反してはならない。 正義を守りなさい。 そうすればより敬虔になる...﴾ (クルアーン 5:8)

預言者ムハンマド ﷺ は申された。{人びとよ、正義を重視しなさい。<sup>109</sup> 不正義は審判の日に暗闇となる。}<sup>110</sup>

現世で権利(正当に要求できるもの)を得なかったものは、審判の日にそれを受け取ると預言者 ﷺ は申された。{審判の日、権利は当然受け取るべきものに与えられる。(そして間違っただけは是正される) ...}<sup>111</sup>

## イスラームにおける女性の地位

---

<sup>109</sup> 他人を抑圧したり、不正を行ったり、他人に悪いことをする。

<sup>110</sup> *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #5798 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #2447 の伝承。

<sup>111</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2582 及び *Mosnad Ahmad* [モスナード・アハマド] #7163 の伝承。

イスラームは女性が未婚・既婚に関わらず、その権利を個人のものとし、後見人（父親、夫、その他）なしで自分の財産や収入を所有し、処分する権利を与えている。女性には売買する権利があり、贈物や慈善を行い、自分の好きなようにお金を使うことができる。結納金は花婿から花嫁のものとして与えられ、また夫の名前でなく、自分の家族の姓名を保つ。



イスラームは夫が妻を大切にすることを教えている。預言者ムハンマド ﷺ は申された。{あなたがたの中で最も善き者は妻を大切にすることである。}<sup>112</sup>

イスラームにおいて母親は非常に尊重されている。イスラームは母親を丁重に扱うことを薦めている。ある男が預言者ムハンマド ﷺ のところにやってきて尋ねた。「神の預言者よ。周囲の人たちの間で最も大切な人は誰ですか。」預言者 ﷺ は答えられた。{それは母親である。} 男が「その次は誰ですか」と尋ねると、預言者 ﷺ は答えられた。{そして母親である。} 男がさらに尋ねた。「その次は誰ですか」預言者 ﷺ は答えられた。{そして母親である。} 男がもう一度「その後は誰ですか」と尋ねた。預言者 ﷺ は答えられた。{そして父親である。}<sup>113</sup>

## イスラームにおける家族

<sup>112</sup> *Ibn Majah* [イブン・マジャー] #1978 及び *Al-Tirmizi* [アッティルミーズ] #3895 の伝承。

<sup>113</sup> *Saheeh Muslim* [サヒーフ・ムスリム] #2548 及び *Saheeh Al-Bukhari* [サヒーフ・アルブハリ] #5971 の伝承。

文明の基礎である家族は、現在崩壊している。イスラームの家族制度は夫、妻、子供、親族の権利に優れたバランスを与えている。うまく組織化された家族制度の枠組みの中で、非利己的な行動、寛大さ、愛情を育てている。安定した家族が与える平安と安全が重視され、家族の精神的成長にとって要と見なされている。調和の取れた社会秩序は家族の広がり子供を大切にすることによって作り出される。

## ムスリムは年長者をどのように扱うか

イスラーム世界では、「養老院」は稀である。年老いて弱った両親の世話をする苦労は名誉や恩恵とみなされ、重要な精神的成長の機会と考えられている。イスラームでは、両親のために祈るだけでは十分でない。限りない愛情を注ぎ、自分達が幼い子供のときに彼らがわが身よりも大切にしてくれたことを思い出さなければならない。母親は特に尊重しなければならない。親が老いると、親切心と無私の心によって彼らを丁重に扱わなければならない。

イスラームでは、親に仕えることは、礼拝の次に大切なことであり、親も大切に扱われる権利がある。親が老いから気難しくなった時に、それに対していらした感情を示すことは恥ずべきことであると考えられている。

神は仰せられた。



あなたの主は命じられる。かれの外何者をも崇拝してはならない。また両親に孝行しなさい。

もし両親かまたはそのどちらかが、あなたと一緒にいて老齢に達しても、かれらに無礼な言葉を使ったり、叱り付けたりせず、親切な言葉で話さない。そして敬愛の情を込めて、両親に対し謙虚に振る舞い、「主よ、私を愛育してくれたように、二人の上に御慈悲をお授けください。」と言う方がいい。🌟 (クルアーン 17:23-24)

## イスラームの5つの柱

イスラームの5つの柱はムスリムの生活の基本である。信仰告白、礼拝、ザカート（喜捨：困窮者への支援）、ラマダーン月の断食、一生に一度可能なもののメッカ巡礼である。

### 1) 信仰告白

信仰告白は確信を持って、「ラーイラーハ・イッララー、ムハンマド・ラスールッラー」と言うことである。意味は「神（アッラー）の外に真の神はなく、<sup>114</sup> ムハンマドは神の使徒（預言者）である。」最初の部分である「神の外に真の神はない」は、神の外に崇められる権利を持つものではなく、配偶者も息子も持たないという意味である。信仰告白はシャハーダと呼ばれ、(本章「人はどのようにしてムスリムになるのか」で説明されているように)、イスラームに入信するために確信をもって証言する単純な儀式である。信仰告白はイスラームの柱で最も重要なものである。

### 2) 礼拝

---

<sup>114</sup> アッラーという言葉に関する詳細は、本章「イスラームの信仰の基本 1) 神を信じること」の終わり部分を参照。

ムスリムは1日に5回礼拝する。1回の礼拝を行うのに数分しかかからない。イスラームにおける礼拝は、信者と神を直接結びつける。神と信仰する者の間に介在するものはない。

礼拝で、内なる幸福、平安、安堵を感じ、神が自分を愛でられていることを実感する。預言者ムハンマド ﷺ は申された。{ビラールよ、人びとに礼拝を呼びかけなさい。そしてみんなであらぎを得よう。}<sup>115</sup> ビラールはムハンマド ﷺ から人々に礼拝を呼びかける役目を担った教友であった。

礼拝は夜明け前、昼、日中後半、日没、夜半に野外、事務所、工場、大学などあらゆるところで行うことができる。

### 3) ザカート喜捨 (困窮者の支援)

凡ての物は神のものであり、富は人間に任されている。ザ



カートという言葉の本来の意味は「浄化」と「成長」である。ザカートを与えることは「一定の困窮者に指定された割合を与える」ことを意味する。金約85グラム以上に相当する金、銀、または現金が対象であり、太陰暦の1年以上所

有するものに課せられる割合は2.5%である。我々の所有物は、困っている人々に対して僅かな部分を取り分けることによって浄化される。それはまさに木を剪定すると、バランスを取り戻し、新たな成長を促すようなものである。

また施しや慈善を好きなだけ与えることもできる。

---

<sup>115</sup> Abu-Dawood [アブ・ダウード] ,#4985 及び Mosnad Ahmad [モスナード・アハマド] #22578 の伝承。

## 4) ラマダーン月の断食

毎年ラマダーンの月には、<sup>116</sup>すべてのムスリムは日の出から日没まで断食する。その間食事や飲み物、性交を断つ。

断食は体によいが、基本的には精神的な自己浄化の方法と見なされている。たとえ短い時間でも、世俗的な快樂を控えることによって、断食をする人間は空腹の人間に心から同情し、自己の精神性を高めることができる。



## 5) メッカ巡礼

毎年行われるメッカ巡礼（ハッジ）は、肉体的にも経済的にも余裕のあるムスリムにとって、一生に一度行うことが義務である。毎年世界中からおおよそ2百万人がメッカにやってくる。メッカにはいつも訪問者が溢れているが、恒例のハッジはイスラーム暦の12ヶ月目に行われる。男性の巡礼者はあらゆる階級や文化の違いを取り除き、神の前に平等で臨むため、特別のシンプルな服装をする。

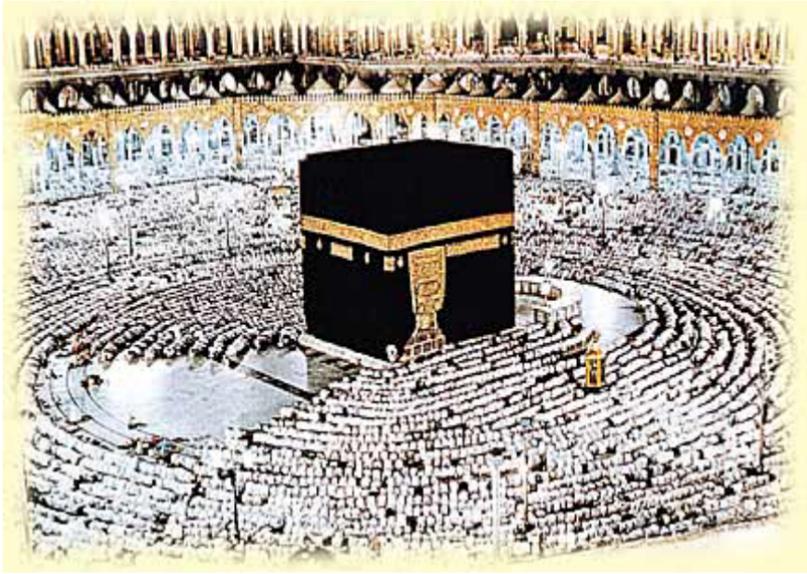
ハッジの儀式は、カーバを7周廻り、さらにハガルが水を捜し求めて走り回ったように、サファとマルワの間の丘を7回往來することが含まれる。それから巡礼者はアラファ<sup>117</sup>で合同礼拝をし、希望や神の赦しを求めるが、これはしばしば審判の日の予告と見なされる。

---

<sup>116</sup> ラマダーン月はイスラーム暦の9番目の月である。（太陽暦ではなく太陰暦）

<sup>117</sup> メッカから24キロのところにある。

ハッジの終わりに行われるイードル・アドハと呼ばれる祭事は礼拝で祝う。このお祭りとは、イードル・フィトルと呼ばれる断食月の終わりを祝福する祭日はムスリムにとって年2回の祭事である。



巡礼者はメッカの /ハラム モスクで礼拝する。このモスクの中にカーバ(写真の中の黒い建物)がある。ムスリムはいつもここに向かって礼拝する。カーバは神が預言者アブラハムとその息子イシュマエルに礼拝所を立てるように命じた場所である。

## 参考文献

Ahrens, C. Donald (アーレンス、C.ドナルド)。1988年。

*Meteorology Today* [今日の気象学] 第3版。セントポール:  
West Publishing Company (ウエスト・パブリッシング・カンパニー)

Anderson, Ralph K.(アンダーソン、ラルフ.K.)その他。1978年。

*The Use of Satellite Pictures in Weather Analysis and*

- Forecasting* [気象分析と予測における衛星写真の利用]。ジュネーブ: Secretariat of the World Meteorological Organization(世界気象学会事務局)
- Anthes, Richard A. (アンセス、リチャード A.); John J. Cahir(ジョン J.カヒール); Alistair B. Fraser (アリスティア B.フレイザー); Hans A. Panofsky (ハンス A.ポノフスキ)。1981 年。 *The Atmosphere* [大気]第 3 版。コロンブス: Charles E. Merrill Publishing Company (チャールズ E.メリル・パブリッシング・カンパニ)
- Barker, Kenneth (バーカー、ケニース)その他共著。1985 年。 *The NIV Study Bible, New International Version* [NIV 研究聖書・新国際版]。ミシガン・グランド・ラピズ : Zondervan Publishing House (ズンダーバン・パブリッシング・ハウス)
- Bodin, Svante (ボーディン、スバンテ)。1978 年。 *Weather and Climate* [気象と天候]。ドレスト・プール: Blandford Press Ltd (ブランドフォード・プレス社)
- Cailleux, Andre (カイユ、アンドレ)。1968 年。 *Anatomy of the Earth* [地球の構造]。ロンドン: World University Library (ロンドン大学ライブラリー)
- Couper, Heather (クーパー、ヒーザー) および Nigel Henbest (ニゲル・ヘンベスト)。1995 年。 *The Space Atlas* [宇宙アトラス]。ロンドン: Dorling Kindersley Limited (ドーリング・キンダースレイ・カンパニー・リミテッド)
- Davis, Richard A., Jr (デイビス、リチャード A.ジュニア) 1972 年。 *Principles of Oceanography* [海洋学の原則]。オンタリオ・ドンミルズ: Addison-Wesley Publishing Company (アディソン・ウェスレイ・パブリッシング・カンパニ)
- Douglas, J. D. (ダグラス、J.D.) および Merrill C. Tenney (メリル C. テニー)。1989 年。 *NIV Compact Dictionary of the Bible*

[NIV 聖書コンパクト辞書]。ミシガン・グランドラピーズ：  
Zondervan Publishing House (ゾンダーバン・パブリッシング・  
ハウス)

Elder, Danny (エルダー、ダニー) および John Pernetta (ジョン・パー  
ネッタ)。1991 年。 *Oceans* [大洋]。ロンドン: Mitchell  
Beazley Publishers (ミッシェル・ビーズレイ・パブリシャーズ)

Famighetti, Robert (ファミゲッティ、ロバート)。1996 年。 *The World  
Almanac and Book of Facts 1996* [ワールドアルマナックと事  
実の本 1996]。ニュージャージー・マフワ: World Almanac  
Books (ワールド・アルマナック・ブックス)

Gross, M. Grant (グロス、M. グラント) 1993 年。 *Oceanography, a  
View of Earth* [海洋学、地球の姿] 第 6 版。 Englewood  
Cliffs (イングルウッド・クリフス): Prentice-Hall, Inc (プレンテ  
イス・ホール社)

Hickman, Cleveland P. (ヒクマン、クリーブランド P.) その他共著。  
1979 年。 *Integrated Principles of Zoology* [動物学の総合的  
原則] 第 6 版。 セントルイス: The C. V. Mosby Company (ザ  
C.V. モスビー・カンパニー)

Al-Hilali, Muhammad T. (アル・ヒラーリ、ムハンマド T.) および  
Muhammad M. Khan (ムハンマド M. カーン) 1994 年。  
*Interpretation of the Meanings of The Noble Quran in the  
English Language* [聖クルアーンの意味の解釈英語版]。第  
4 改訂版。 リヤド: Maktaba Dar-us-Salam (マクタブ・ダルッ  
サラーム)

*The Holy Bible, Containing the Old and New Testaments (Revised  
Standard Version)* [新旧聖書 (改定標準版)] 1971 年。 ニュ  
ーヨーク: William Collins Sons & Co., Ltd. (ウィリアム・コ  
リンズ・サンズ・アンド・カンパニー・リミテッド)

Ibn Hesham, Abdul-Malek (イブン・ヒシャーム、アブドル・マーレク)。 *Al-Serah Al-Nabaweyyah* [アッセーラ・アルナバウイヤ]。 ベイルート: Dar El-Marefah (ダル・エルマレファ)

サウジ大使館イスラーム関係部門、ワシントン DC、1989 年。  
*Understanding Islam and the Muslims* [イスラームとムスリムを理解する]。ワシントン DC: サウジ大使館イスラーム関係部門

Kuenen, H (キューネン、H.)1960 年。 *Marine Geology* [海洋地質学]。 ニューヨーク :John Wiley & Sons, Inc.(ジョン・ウイラー・アンド・サンズ・インク)

Leeson, C. R. (リーソン、C.R)および T. S. Leeson (T.S.リーソン) 1981 年。 *Histology* [組織学]。第 4 版。 フィラデルフィア: W. B. Saunders Company (W.B.ソンダーズ・カンパニー)

Ludlam, F. H. (ルドラム、F.H.)1980 年。 *Clouds and Storms* [雲と嵐]。 ロンドン: The Pennsylvania State University Press (ペンシルバニア州立大学プレス)

Makky, Ahmad A. (マッキー、アハマド A.)その他共著。1993 年。  
*Eejaz al-Quran al-Kareem fee Wasf Anwa al-Riyah, al-Sohob, al-Matar* [エーザズ・アルクルアーン・アルカリーム・フィー・ワシュフ・アンワ・アルリアド、アル・ソホブ、アルマタル)、メッカ: Commission on Scientific Signs of the Quran and Sunnah (クルアーンとスンナの科学的印委員会)

Miller, Albert (ミラー、アルバート)および Jack C. Thompson (ジャック C.トンプソン) 1975 年、 *Elements of Meteorology* [気象学の基本]第 2 版。 コロンブス: Charles E. Merrill Publishing Company (チャールズ E.メリル・パブリッシング・カンパニー)

Moore, Keith L. (ムーア、キース L.); E. Marshall Johnson (E.マーシャル・ジョンソン); T. V. N. Persaud (T.V.N.ペルサウド); Gerald C. Goeringer (ジェラルド・C.ジョーリングガー);

- Abdul-Majeed A. Zindani(アブドルマジード A.ズンダニ);  
Mustafa A. Ahmed(ムスタファ A.アハメド)。1992 年。  
*Human Development as Described in the Quran and Sunnah*  
[クルアーンとスンナに書かれた人間の発育]。メッカ:  
Commission on Scientific Signs of the Quran and Sunnah (ク  
ルアーンとスンナの科学的印委員会)
- Moore, Keith L.(ムーア、キース L); A. A. Zindani(A.A.ズンダニ)  
その他共著 1987 年。*Al-E' jaz al-Elmy fee al-Naseyah*(前  
頭部の科学的奇跡) メッカ:Commission on Scientific Signs  
of the Quran and Sunnah (クルアーンとスンナの科学的印委  
員会)
- Moore, Keith L.(ムーア、キース L) 1983 年。 *The Developing  
Human, Clinically Oriented Embryology, With Islamic  
Additions*[人間の発育、臨床志向の胎児学、イスラームによ  
る追加]。第 3 版。 ジェッダ: Dar Al-Giblah (ダラル・キブラ)
- Moore, Keith L.(ムーア、キース L)および T. V. N.  
Persaud(T.V.N.ペルサウド) 1993 年。 *The Developing  
Human, Clinically Oriented Embryology*[人間の発育、臨床  
志向の胎児学]第 5 版。フィラデルフィア:W.B. Saunders  
Company(W.B.ソンドーズ・カンパニー)
- El-Naggar, Z. R. (エル・ナッガール、Z.R.)1991 年。 *The  
Geological Concept of Mountains in the Quran*[クルアーン  
における山の地質学的概念]第 1 版。 ヘルンドン:  
International Institute of Islamic Thought (イスラーム思想国  
際協会)
- Neufeldt, V.(ノイフェルド、V.) 1994 年。 *Websters New World  
Dictionary*[ウェブスター新世界辞書]第 3 カレッジ版。ニュ  
ーヨーク:Prentice Hall(プレントイス・ホール)

*The New Encyclopaedia Britannica*[新ブリタニカ百科事典]1981年。第5版。シカゴ: Encyclopaedia Britannica, Inc(エンサイクロペディア・ブリタニカ・インク)

Noback, Charles R.(ノーバック、チャールズ R.); N. L. Strominger (N.L.ストロミンガー); R. J. Demarest (R.J.デマーレスト) 1991年。*The Human Nervous System, Introduction and Review*[人間の神経組織。入門と検討]第4版、フィラデルフィア: Lea & Febiger(リー・アンド・フェビガー)

Ostrogorsky, George(オストロゴルスキ、ジョージ) 1969年。*History of the Byzantine State*[ビザンチン帝国の歴史]。ジョン・ハッセイによってドイツ語から翻訳。改訂版。ニューブルスヴィック: Rutgers University Press(ルトガー大学出版)

Press, Frank(プレス、フランク)および Raymond Siever(レイモンド、シーバー)1982年。*Earth*[地球]第3版。サンフランシスコ: W. H. Freeman and Company (W.H.フリーマン・アンド・カンパニー)

Ross, W. D.(ロス、W.D.)その他共著 1963年。*The Works of Aristotle Translated into English: Meteorologica*[アリストテレス著作集英訳・気象学]第3巻。ロンドン: Oxford University Press(オックスフォード大学出版)

Scorer, Richard(スコラー、リチャード)および Harry Wexler(ハリール・ワックスレイ)1963年。*A Colour Guide to Clouds*[雲の色付ガイド]。Robert Maxwell(ロバート・マックスウェル)

Seeds, Michael A.(シーズ、マイケル A.) 1981年。*Horizons, Exploring the Universe*[ホライズン、宇宙を探検する]。ベルモント: Wadsworth Publishing Company(ワドスワース・パブリッシング・カンパニー)

Seeley, Rod R(シーレイ、ロド R.); Trent D. Stephens(トレント D. ステファン); Philip Tate(フィリップ・テイト). 1996年。

*Essentials of Anatomy & Physiology*[解剖学と生理学の本質]第2版。セントルイス: Mosby-Year Book, Inc (モズビー・イヤー・ブックス・カンパニー)

Sykes, Percy (サイケス、パーシー) 1963年。 *History of Persia*[ペルシヤの歴史]第3版。ロンドン: Macmillan & CO Ltd. (マクミラン・アンド・カンパニー・リミテッド)

Tarback, Edward J. (ターバック、エドワード J.) および Frederick K. Lutgens (フレデリック K. ルトゲンス) 1982年。 *Earth Science*[地球の科学]第3版。コロムブス: Charles E. Merrill Publishing Company (チャールズ E. メリル・パブリッシング・カンパニー)

Thurman, Harold V. (サーマン、ハロルド V.) 1988年。 *Introductory Oceanography*[海洋学入門]第5版。コロムブス: Merrill Publishing Company (メリル・パブリッシング・カンパニー)

Weinberg, Steven (ワインバーガー、ステイブン) 1984年。 *The First Three Minutes, a Modern View of the Origin of the Universe*[最初の3分間、宇宙の起源に関する現代の見解]第5印刷。ニューヨーク: Bantam Books (バンタム・ブックス)

Al-Zarkashy, Badr Al-Deen (アルザルカシー、バドラル・ディーレン) 1990年。 *Al-Borhan fee Oloom Al-Quran*[アルボーレン・フィー・オルーム・アル・クルアーン]第1版。ベイルート: Dar El-Marefah (ダル・エル・マレファ)

Zindani, A. A. (ズンダニ、A.A.) *This is the Truth* [これが真実である](ビデオテープ)。メッカ: Commission on Scientific Signs of the Quran and Sunnah (クルアーンとスンナの科学的印委員会)

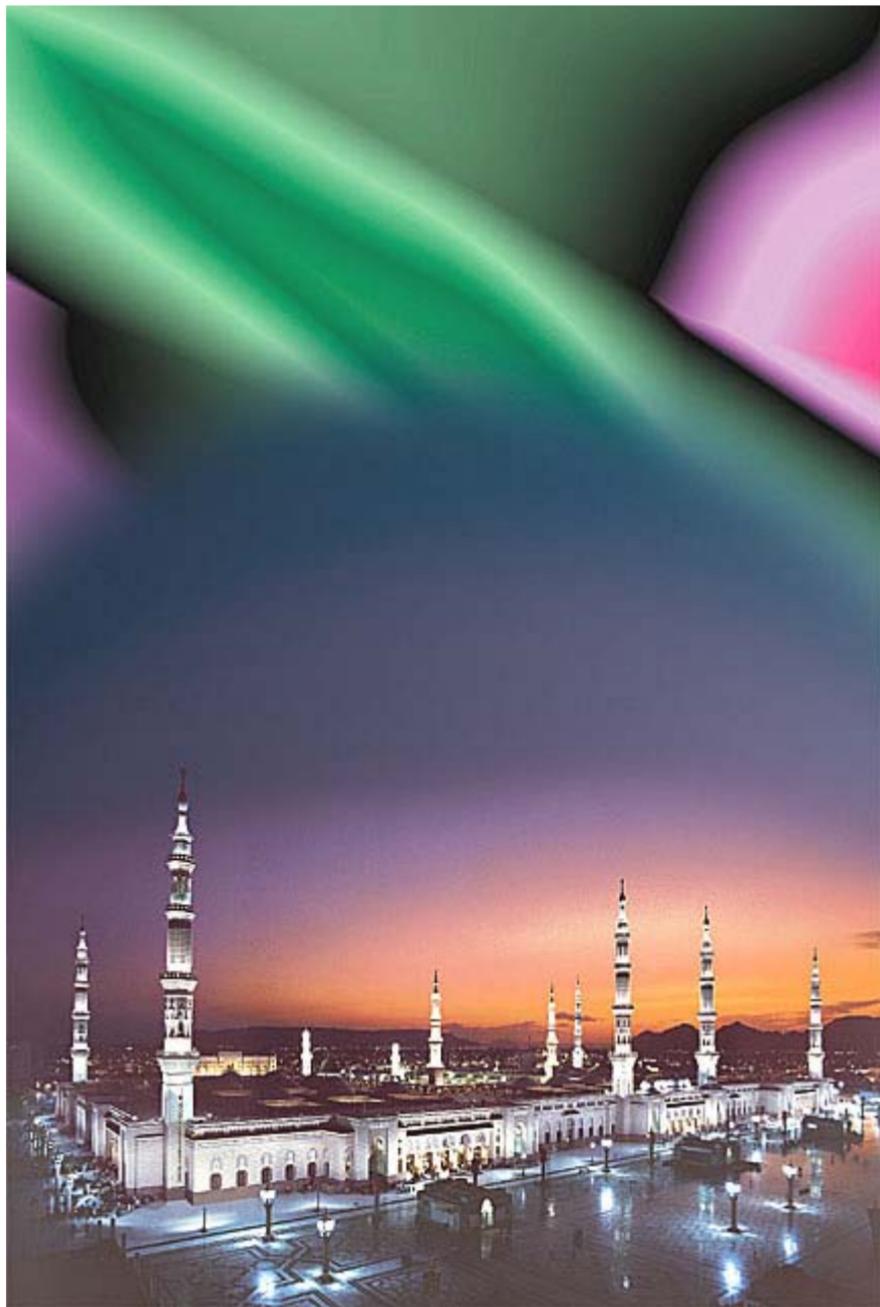
## ハディースの番号付け:

本文のハディース<sup>118</sup>の番号は以下の資料を元としている。

- *Saheeh Muslim*[サヒーフ・ムスリム]: Muhammad F. Abdul-Baqy(ムハンマド F.アブドル・バキ)の番号順。
- *Saheeh Al-Bukhar*[サヒーフ・アルブハリ]: *Fath Al-Bari* (ファス・アルバリ)の番号順。
- *Al-Tirmiz*[アッ・ティルミージ]: Ahmad Shaker (アハマド・シェイカー)の番号順。
- *Mosnad Ahmad*[モスナード・アハマド]: ベイルートの Dar Ehya Al-Torath Al-Araby (ダル・エヒヤ・アルトラス・アルアラビ)の番号順。
- *Mowatta Malek*[ムワッタ・マーレク]: *Mowatta Malek*(ムワッタ・マーレク)の番号順。
- *Abu-Dawood*[アブ・ダウード]: Muhammad Muhyi Al-Deen Abdul-Hameed(ムハンマド・ムヒ・アルディーーン・アブドル・ハミード)の番号順。
- *Ibn Majah*[イブン・マジャー]: Muhammad F. Abdul-Baqy(ムハンマド F.アブドル・バキー)の番号順。
- *Al-Daremey*[アル・ダレメイ]: Khalid Al-Saba Al-Alamy(ハリド・アルサバ・アルアラミ)および Fawwaz Ahmad Zamarly(ファウワーズ・アハマド・ザマルレイ)の番号順。

---

118 ハディースは預言者ムハンマド ﷺ の教友たちが彼の言行や認め  
たことを記録し、信頼できるもの。



写真：メディナの預言者ムハンマド  モスク

**Conveying Islamic Message Society**

**P.O. Box 834**

**Alexandria**

**Egypt**

[www.islamic-message.net](http://www.islamic-message.net)

[info\\_en@islamic-message.net](mailto:info_en@islamic-message.net)